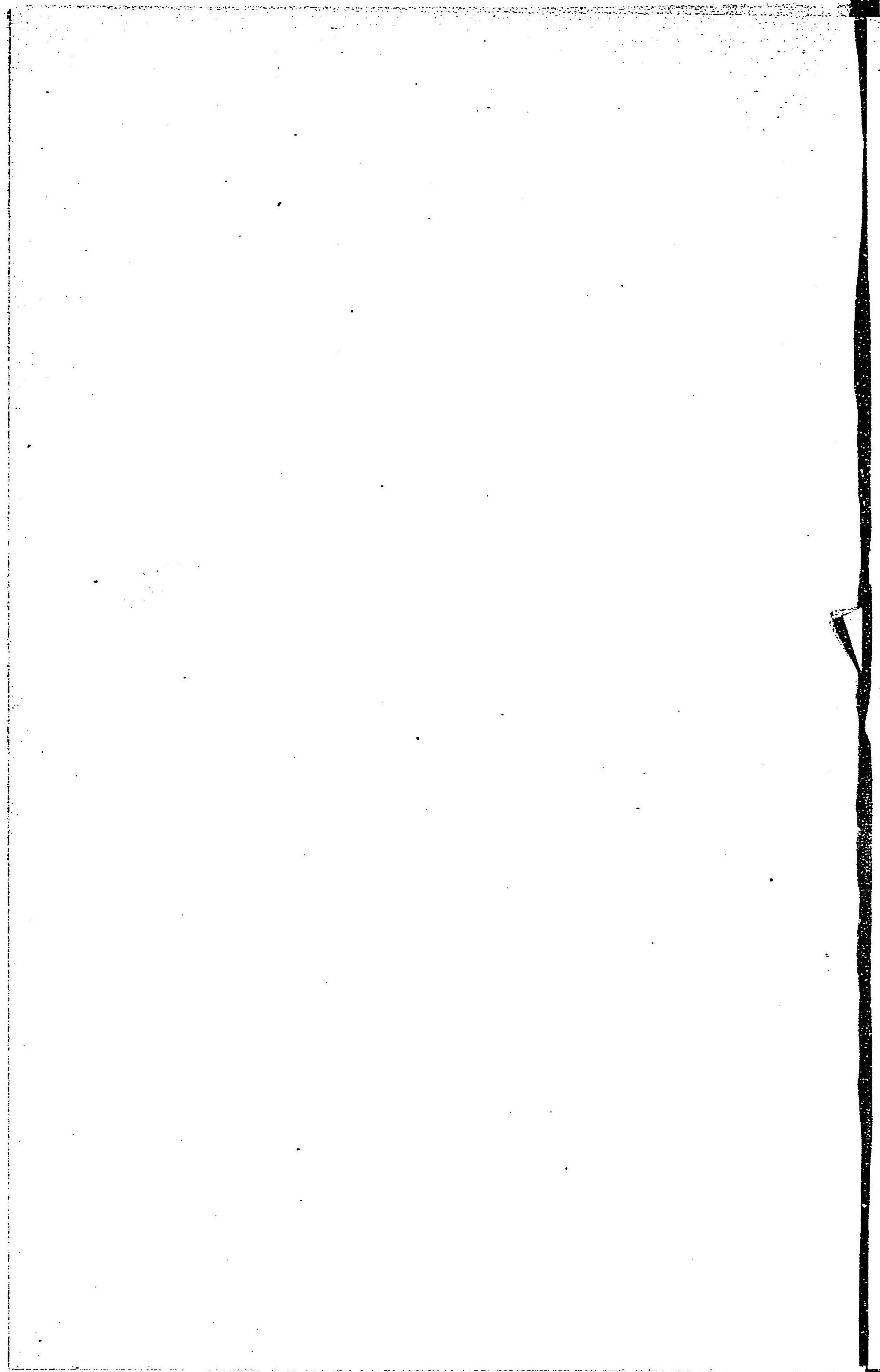


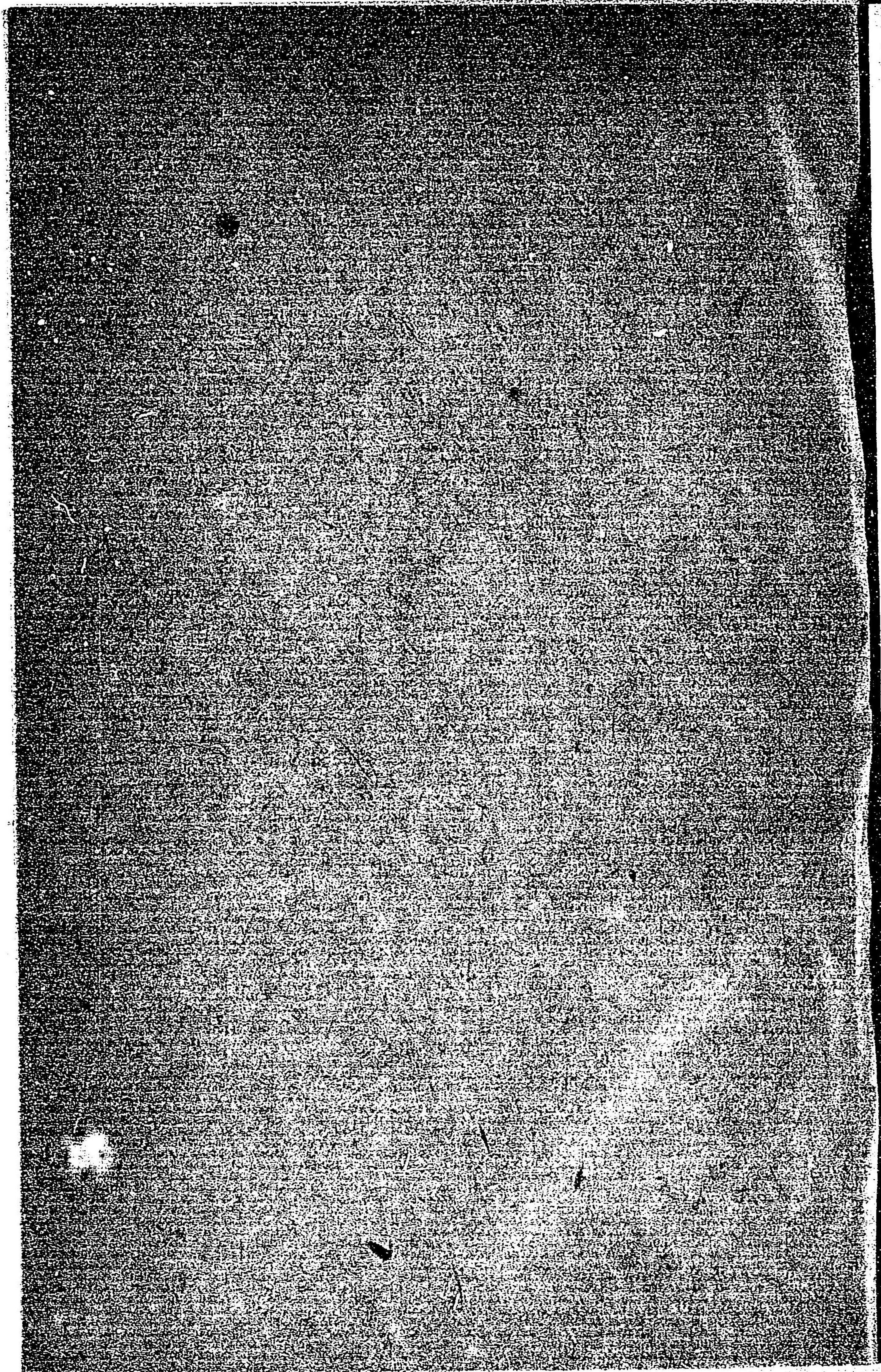
216
6
128

問答叢書第參編

地理歷史問答

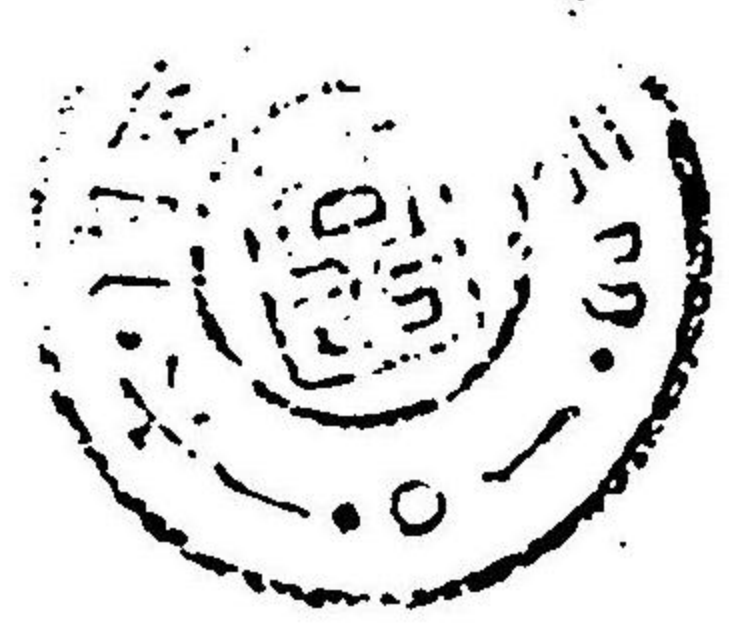
官立諸學校入學
試驗問題解答





地理總記

萬國地理附支那地理



特45

142
(1)



亞細亞洲ニ屬スル邦國ノ名ヲ列擧スベシ
日本、支那、朝鮮、亞細亞魯西亞、西土耳其斯坦、亞細亞土耳其、亞刺伯、阿富汗斯坦、波斯、皮路其斯坦、印度、緬甸、暹羅、安南、東滿蒙等ニシテ此他英佛等ノ屬國アリ

(2) 亞細亞洲ニ屬スル邦國ノ名ヲ列擧スベシ

日本、支那、朝鮮、亞細亞魯西亞、西土耳其斯坦、亞細亞土耳其、亞刺伯、阿富汗斯坦、波斯、皮路其斯坦、印度、緬甸、暹羅、安南、東滿蒙等ニシテ此他英佛等ノ屬國アリ

(3) 亞細亞洲ノ氣候及ヒ物産ヲ問フ

亞細亞洲ハ南方赤道ヨリ北ハ北極環ニ至ルヲ以テ寒熱ノ氣候皆具ハリ物産モ亦寒地ヨリ熱地ニ至ル迄ノモノ一モ備ハラサルナシ故ニ世人ハ亞細亞ヲ呼テ産物ノ貯蓄所ト稱セリ

(4) 亞細亞洲中ノ著名ナル湖河ヲ列擧セヨ

湖ノ著名ナル者ハ鹽水ニ裏海、アラル海、バルカシコ海、淡水ニバイカル湖、洞庭湖等アリ、河流ノ有名ナル者ハ北氷洋ニヲビ河、エニサイ河、レナ河等アリ、太平洋ニハ黑龍江、黄河、揚子江、廣東河等アリ、印度洋ニハイラハデー、ブラマブトラ、ゲンジス、インダス、テーグリス、ユーフラチース等ノ諸川アリ

(5) 亞細亞洲ノ地勢及海岸線ハ如何

地勢中央部ハ大高原ニシテ海濱ニ接スル處ハ平野ニ屬セリ而シテ其海岸線ハ崎灣所々ニ突入シ長程三万五千哩ニ達スト云ヘリ

(6) 朝鮮國ノ位置人口及ヒ面積ト首府ノ所在ヲ擧ゲヨ

朝鮮國ノ北境ハ滿洲ニ隣リ西方ハ滿洲及ヒ黃海ニ接シ南ハ朝鮮海峽ニ臨ミテ東方日本海ニ面シ其面積ハ二千万哩ニシテ人口凡ソ一千万餘ナリ而シテ首府ヲ漢城府トナス即チ漢口ノ北岸ニアリ河口ヲ去ル一凡十八哩ナリ

(7) 支那帝國ノ邦名ト支那ノ首府人種人口ヲ列擧スベシ

支那ハ支那本部、蒙古、滿洲、東方土耳其斯坦、西藏等ヲ有シ首府ハ北河ニ近キ北京ニアリ人種ハ蒙古人ニシテ四億七千万餘ナリ

(8) 歐羅巴ノ位置及ヒ廣袤境界ヲ示セ

歐羅巴ハ東大陸ノ西北ニアリテ北緯三十六度ヨリ同七十一度五分ニ至リ西經九度三十分ヨリ東經六十八度ニ至リ東西三千哩南北二千四百哩ナリ而シ

テ其境界ハ北ハ北氷洋西ハ大西洋南方ハ地中海群島海、マルモラ海、黑海及ヒ高加索山ニ至リ東方ハ裏海、ウラル山ニ接ス

(9) 歐羅巴洲ノ面積及ヒ人種ハ如何

其面積ハ四百万方哩ニシテ人口凡ソ三億六千五百万餘ナリ而シテ其人種ハ大低高加索人種ナリトス

(10) 歐羅巴洲ノ地勢、海岸線及ヒ氣候ヲ問フ

地勢、東北部ハ廣漠無限ノ低原ヲナシ西北部ハ大低高地ニ屬シ山嶺モ亦處々ニ崛起セリ海岸線ノ出入ハ實ニ甚シク長程二万哩ニ過キ、氣候ハ概テ溫帶ナルガ故ニ溫順和ナリ而シテ其西部ハ大西洋ノ暖風ニ依テ東方ニ比シ一層溫暖ニシテ降雨多シ

(11) 歐羅巴洲ニ於ケル著名ナル川流及ヒ海灣海峽等ヲ列擧セヨ

『河流』ベチヨラ、ドウイナ、チプア、グイシチユーラ、オーダー、エルブ、ブエゼル、ラエン、スケエルト、テイムス、セイヌ、ガロン、ビスカイ、ダニユーブ『海灣』白海、北氷洋、スケールラツク海、カテーガット海、バルチツク海、北海、アイリツシユー海、ビスカイ灣以上太西洋等アリ又バルチツク、又地中海ノ有スルモノリ、ファン灣、ゼノア灣、チーブル灣、アドリアチツク海、コリンズ灣、イーシアニ海、黑海、裏海等トナス而シテ著名ノ海峽ハエニケール海峽、ボラス、ダルダネル、ゼブラル

タル、ド、パー海峽トス

(12) 歐羅巴洲ニ屬スル著名ナル島岐及岬角ヲ並舉スベシ
嶋嶼ノ著名ナル者ハオ、トク、チ、ヘ、ブ、ライ、ス、ブ、ランド、ゴ、ス、ランド、ミ、ノ、ル、カ、
マジヨルカ、コルシカ、エルガ、サ、チ、ニ、ア、シ、リ、マルタ、カンヂヤ等アリ其他
小島多シト雖、一々枚舉スルニ違、ア、ラ、ス、次ニ岬角ノ著名ナル者ヲ述、ン、ニ北
方ニノース岬、西ニウ、ー、シ、ヤ、ン、岬、オ、ー、テ、ガ、ル、岬、ヒ、ニ、ス、テ、ー、ル、岬、ロ、ツ、カ、岬、セ、ン
トウ、イ、ン、セ、ン、ト、岬、ク、リ、ー、ヤ、ラ、ツ、ス、ラ、ン、ド、エ、ン、ド、ニシテ其南ニア、ル、ヲ、ス、バ、ル
チ、ベ、ン、ト、岬、バ、ツ、サ、ロ、マ、タ、バ、ン、岬トス

(13) 歐羅巴洲ニ於ケル高山ハ如何
高山ノ最モ著名ナルモノハ、ゴ、ー、カ、ス、山脈中ニ、エ、ル、バ、ー、ス、山、ア、ル、プ、ス、山脈中
ニ、ブ、ラ、ン、ク、山、ビ、レ、ニ、ー、山脈中ニマ、ラ、デ、ツ、タ、山、シ、リ、島ニエ、ト、ナ、山、ウ、ラ、ル
山等ナリトス

(14) 亞弗利加洲ノ位置及ヒ廣サヲ問フ
亞弗利加洲ハ東大陸ノ西南ニ位シテ北緯三十七度二十分ヨリ起リテ南位三
十二度五十分ニ至リ經度ハ西經十七度三十二分ヨリ東經五十一度二十二分
ニ至リ南北凡ソ五千哩東西凡ソ四千七百哩ニ達ス

(15) 亞弗利加洲ノ地勢境界面積及ヒ人口ヲ問フ

亞弗利加洲ハ一般ニ高原ニシテ其緣邊ニハ山岳高ク聳エ一連ノ長嶺ヲナシ
而シテ此嶺峰ト海岸トヲ以テ峽長ノ平野ヲ夾ミ其廣サハ二十里ヨリ百二十
里ニ及ブ境界ハ北方地中海ニ臨ミ西ハ太平洋ニ面シ南方ノ一端ハ長ク南太
平洋ニ至リ東方ハ亞細亞洲トノ境、ス、ー、エ、ス、地峽ニ至リ其面積ハ千百五十六
万方哩ニシテ人口ハ凡ソ二億ヲ有セリ

(16) 亞弗利加洲ノ氣候及ヒ海岸線ヲ記セ
全洲四分ノ三ハ熱帶中ニアリテ炎熱從テ甚シク其溫帶地方ト雖其溫度ハ大
ニ高シ之レ洲中ノ大砂漠ヨリ發スル暖熱ニ因ル者ニシテ其溫度ノ高キコ夏
月ニ於テハ樹蔭ト雖、大低百二三十度ニ昇レリ又海岸線ハ甚ダ凹凸ナリ長
程一万八千哩ナリト云フ

(17) 北亞米利加洲ノ位置境界廣袤及面積人口ヲ列舉セヨ
北亞米利加洲ハ西大陸ノ北部ニ位シ北緯八十八度ヨリ八度ニ達シ經度ハ西經
五十六度ヨリ同百六十八度ニ達ス而シテ北方ハ北冰洋ニ面シ西方ハ太平洋
ニ達シ南方ハパナマノ地峽ニヨリテ南亞米利加ニ續キ東西凡ソ二千七百哩
南北凡四千八百哩其面積ハ八百七十万方哩人口ハ凡ソ七千三百万餘アリ

(18) 亞米利加洲ノ氣候及ヒ海岸線ハ如何
亞米利加洲ノ内地ハ北極地方ヨリ來ル處ノ寒風ニ依テ緯度ニ比シテ大ニ寒冷

タル、ド、パー海峽トス

(12) 歐羅巴洲ニ屬スル著名ナル島岐及岬角ヲ並舉スベシ
嶋嶼ノ著名ナル者ハオークチー、ヘブライス、ラーランド、ゴスランド、ミノルカ、
マジヨルカ、コルシカ、エルガ、サーチニア、シ、リト、マルタ、カンヂヤ等アリ其他
小島多シト雖モ一々枚舉スルニ遑アラズ次ニ岬角ノ著名ナル者ヲ述ンニ北
方ニノース岬、西ニウーシヤン岬、オーテガル岬、ヒニステール岬、ロツカ岬、セン
トウインセント岬、クリーヤ、ラツス、ランドエンド、ニシテ其南ニアルフスバル
チベント岬、バツサロ、マタバン岬トス

(13) 歐羅巴洲ニ於ケル高山ハ如何
高山ノ最モ著名ナルモノハ、ゴークカス山脈中ニ、エルバース山、アルプス山脈中
ニ、ブランク山、ピレニー山脈中ニ、マラデツタ山、シ、リー島ニエトナ山、ウラル
山等ナリトス

(14) 亞弗利加洲ノ位置及ヒ廣サヲ問フ
亞弗利加洲ハ東大陸ノ西南ニ位シテ北緯三十七度二十分ヨリ起リテ南位三
十二度五十分ニ至リ經度ハ西經十七度三十二分ヨリ東經五十一度二十二分
ニ至リ南北凡ソ五千哩東西凡ソ四千七百哩ニ達ス

(15) 亞弗利加洲ノ地勢境界面積及ヒ人口ヲ問フ

亞弗利加洲ハ一般ニ高原ニシテ其緣邊ニハ山岳高ク聳エ一連ノ長嶺ヲナシ
而シテ此嶺峰ト海岸トヲ以テ峽長ノ平野ヲ夾ミ其廣サハ二十里ヨリ百二十
里ニ及ブ境界ハ北方地中海ニ臨ミ西ハ太平洋ニ面シ南方ノ一端ハ長ク南太
平洋ニ至リ東方ハ亞細亞洲トノ境、スーエス地峽ニ至リ其面積ハ千五百十六
万方哩ニシテ人口ハ凡ソ二億ヲ有セリ

(16) 亞弗利加洲ノ氣候及ヒ海岸線ヲ記セ
全洲四分ノ三ハ熱帶中ニアリテ炎熱從テ甚シク其溫帶地方ト雖其溫度ハ大
ニ高シ之レ洲中ノ大砂漠ヨリ發スル暖熱ニ因ル者ニシテ其溫度ノ高キコ夏
月ニ於テハ樹蔭ト雖モ大低百二十度ニ昇レリ又海岸線ハ甚ダ凹凸ナリ長
程一万八千哩ナリト云フ

(17) 北亞米利加洲ノ位置境界廣袤及面積人口ヲ列舉セヨ
北亞米利加洲ハ西大陸ノ北部ニ位シ北緯八十八度ヨリ八度ニ達シ經度ハ西經
五十六度ヨリ同百六十八度ニ達ス而シテ北方ハ北氷洋ニ面シ西方ハ太平洋
ニ達シ南方ハパナマノ地峽ニヨリテ南亞米利加ニ續キ東西凡ソ二千七百哩
南北凡四千八百哩其面積ハ八百七十万方哩人口ハ凡ソ七千三百万餘アリ

(18) 亞米利加洲ノ氣候及ヒ海岸線ハ如何
亞米利加洲ノ内地ハ北極地方ヨリ來ル處ノ寒風ニ依テ緯度ニ比シテ大ニ寒冷

ナリ然レモ其西岸ハ南風ト暖和ナル我黒潮ニ觸ル、ヲ以テ東岸ニ比シテ大ニ暖和ナリ又海岸ハ三角形ヲ有シ其長程凡ソ三万哩ナリ

(19) 南亞米利加洲ノ位置及ヒ地勢トヲ問フ

位置ハ西大陸ノ南部ニシテ北緯八度ト南緯五十六度トノ間ニアリテ西徑三十五度ヨリ起リ八十二度ニ及ブ地勢ハ、アンデスノ高臺及ヒ大ナル低原等ノ數部ニ分レテ廣漠ナル東西ノ山地ヲ分テリ

(20) 埃斯太刺利亞ノ地勢ト海岸線トヲ記述スベシ

埃國ハ南東西ニ於テ豊土アリト雖其内部ニ至テハ無人ノ地多ク唯草木ノ鬱茂スルヲ見ルノミ東部又山脈ノ起伏少カラズ海岸線ハ凡ソ八千哩ニ亘リ北岸ノ地ハ皆平坦ナリ

第一章 日本地理

(1) 大日本帝國ノ境界及經緯ノ度ヲ問フ

我帝國ハ亞細亞洲ノ東部ニアリ北ハ北海道ノ宗谷海峽及千島ノ久留利海峽ニヨリ露領ニ接シ西方ハ日本海ニ濱シ東ハ太平洋ニ臨ム緯度ハ北緯二十四度六分ヨリ北ハ同五十度五十六分ニ及ビ經度ハ東經百五十六度三十二分ヨリ全百二十二度四十五分ニ至ル

(2) 我帝國ノ地勢及海岸線ハ如何

地勢ハ山岳多ク幅員又平原大川亦少シ然レモ其間ニ許多ノ小平原ヲナセリ海岸線ハ出入甚タ多ク南西二方ハ特ニ甚シク延長凡ソ一万五千三百里ニ亘レリ地理學ノ定則ニ依レハ海岸線ノ凹凸ハ其國文明ノ價值ヲ表スル者ナリト云ハバ我帝國文明上ノ價值ハ亦宇内無雙ノ價值アル者ト云ハサルヲ得サルナリ

(3) 我帝國ノ氣候及ヒ物産ヲ舉ケヨ

氣候ハ殆ント寒熱兩帶間ノ種々ノ氣候ヲ有セリ則チ北方ハ亞伯利亞ニ似南方ハ地中海邊ノ如シ然レモ北陸東山ノ北方及琉球小笠原諸島並ビニ北海道ノ外ハ大低中和ナリ故ニ物産モ多クハ温帶地方ノ者ナレモ寒熱兩帶間ノ動物ニ至ルマデ悉皆産セサルハナク鑛屬ニテハ金銀銅鐵鉛石炭及建築材等ヲ産シ製造品ハ漆器磁器蠶種生絲織物茶紙銅器等其他枚舉ニ遑アラズ

(4) 三府五港ト之ニ屬スル人口ヲ列舉セヨ

首府ハ武藏ノ東京ニシテ人口ハ百十三万ニ下ラス之ニ次クモノヲ攝津ノ大坂府トナス人口ハ三十六万餘山城ノ京都又之ニ亞ギ人口二十四万ナリ以上ヲ我國ノ三府ト稱ス五港トハ武藏ノ橫濱攝津ノ神戸肥前ノ長崎越後ノ新潟、渡島ノ函館ナリ

(5) 我國ト條約ヲ訂結セシ重立タル國名ヲ列舉セヨ

合衆國、英吉利、魯西亞、和蘭、佛蘭西、葡萄牙、日耳曼、瑞西、比耳義、伊太利、丁抹、瑞典、諾威、西班牙、埃太利、布哇、比利、支那、朝鮮、暹羅、墨西哥

(6) 幾内ニ於ケル著名ノ山岳及ヒ河流ヲ記セ

愛宕山、比叡山、笠取山、鞍間山、大悲山、高雄山、嵐山(以上山城)ハ金峰山、大台原山、高見山、笠置山、葛城山、生駒山(以上大和)金剛山(以上河内)犬鳴山、牛瀧山、槇尾山、飯盛山(以上和泉)摩耶、武庫(以上攝津)ノ諸山ナリ河流ノ著名ナル者ハ淀川、桂川、加茂川、宇治川、木津川、大和川、武庫川、十津川、吉野川ナリ

(7) 幾内ノ都會及其位置ヲ並舉セヨ

山城ノ京都ハ人口二十四万餘、大和ノ奈良ハ人口二万餘、攝津ノ大坂ハ人口三十六万余、攝津ノ神戸ハ人口八万餘アリ其他山城ノ伏水、淀、宇治、八幡、和泉ノ堺、岸和田、大和ノ郡山、攝津ノ尼ヶ崎、西ノ宮等皆名アリ

(8) 東海道沿岸ノ重ナル岬角海灣及ヒ灘ヲ列舉セヨ

岬角ハ志摩ニハ麥崎、尾張ニハ幡豆崎、三河ニハ伊良胡崎、遠江ニハ御前崎、伊豆ニハ雲見崎、石廊崎、相摸ニハ觀音崎、上總ニハ富津崎、下總ニハ犬吠崎等アリ海灣ノ重ナル者ハ東京灣、房州沖、鹿島灘、相摸灘、駿河灣、遠州灘、三河灣、伊勢海等ナリトス

(9) 東海道中著名ノ高山及河流ヲ記セ

駿河ニハ我國無雙ノ富士山アリ高サ一万二千三百七十尺ニ達ス之ニ次クモノヲ愛鷹山トス伊賀ノ尼岳又三千二百尺ニ達ス其他朝熊山、鈴鹿山、白倉山、秋葉山、赤石山、地藏岳、白根山、身延山、武甲山、八溝山、筑波山等アリ河流ニハ木曾川、天龍川、大井川、富士川、多摩川、隅田川、利根川、那珂川等アリテ其他ノ小川枚舉ニ遑アラス

(10) 東山道中ノ首要ナル川流及湖沼ノ名ヲ舉ケヨ

川流ハ信濃川、犀川、阿武隈川、最上川、北上川、鬼怒川等ニシテ湖沼ノ重ナル者ニハ近江ニ琵琶湖アリ本邦第一ト稱ス信濃ニハ諏訪湖、下野ニハ中禪寺湖、岩代ニハ猪苗代湖、陸奥ニハ八郎潟等アリ

(11) 東山道著名ノ物産ヲ舉ケヨ

近江ニ長濱縮緬、美濃ニ紙類、飛騨ニ一位木細工、信濃ニ生絲、上田縞、上野ニ桐生織物、下野ニ日光塗、岩代ニ二本松紬、陸前ニ仙台平、陸奥ニ津輕塗、羽前ニ米澤織羽後ニ秋田蓆、及五穀、木曾ノ木材、奥羽ノ牧畜鑛産等アリテ皆名アリ

(12) 北陸道著名ノ港及ヒ物産ヲ列舉セヨ

越中ノ伏木港、越前ノ敦賀、越後ノ新潟、直江津、若狹ノ小濱港、加賀ノ安宅港、能登ノ七尾港、佐渡ノ小木港ニシテ物産ノ著名ナル者ハ越中ノ藥劑、若狹ノ若狹塗

越前ノ奉書紙、烏子紙、奉書紬、加賀ノ絹布、杉原紙、九谷燒、能登ノ和島塗、越後ノ縮石腦油、海魚、佐渡ノ金銀等ナリ

(13) 九州著名ノ山岳及ヒ川流ヲ問フ
豊前ノ英彦山、肥後ノ阿蘇山、日向ノ霧島山等ハ脈中ノ最高山ニシテ川流ノ大ナル者ニハ川内河、筑後川、大野川、球摩川等其他枚舉ニ遑アラズ

第貳編 地理補遺

第一章 萬國地理附地文

(1) 亞細亞洲中ニハ眞ノ獨立國アリ分裂割據スルモノアリ他國ニ隸屬スルモノアリ一々之ヲ記載セヨ (以下二題陸軍士官學校)

(イ) 獨立之部

大日本帝國、朝鮮王國、支那帝國、暹羅王國、波斯帝國

(ロ) 半獨立之部

安南國(當時佛ノ保護ヲ受ク)、阿富汗坦(現時英國ノ保護ヲ受ク)、

(ハ) 分裂割據之部

阿刺比亞ノ大半

(ニ) 他國ニ屬スル部

西伯里(露領)、東埔寨佛領、緬甸(過半英領)、前印度(過半英領)、卑路芝(名義上英屬)、土耳其斯坦(露領)、阿刺比亞(一部土耳其ニ屬ス)、亞細亞土耳其(土耳其領)等

(2) 歐洲ノ大河及ヒ其注入スル海灣ヲ記入セヨ (圖)
裏海ニ注入スルモノ、ウラル河、ボルガ河アリ、黑海ニ入ルモノ、ドン河、

ドニール河、ドニスター河、ダニューブ河アリ、白海ニ、ドビナ河アリ、バルチック海ニ、ビスチューラ河、ラダー河アリ、北海ニライン河等ナリ

(3) 支那ノ長城及ビ運河 (以下二題幼年學校入學問題)

支那ノ長城ハ其本部ノ北境ニアリテ東ハ滿洲塚ナル山海關ヨリ起リ直隸山西ノ二省ヲ貫キ黄河ヲ横リテ西方ニ綿亘スルヲ凡ソ二千吉羅米突ニシテ嘉谷關ニ至テ盡ク昔時秦始皇帝カ北狄ヲ防カン爲ニ造築シタル者ニテ其高サ大低八九米突厚サハ概テ三乃至十米突ニ達シ處々ニ關門ノ設備アリテ往來ニ便ス運河ハ隋ノ煬帝ノ穿開スル處ニシテ後亦増鑿シ北端天津ヨリ南方ハ杭州ノ西湖ニ達シ長一千三百吉羅米突ナリ右ノ二者共ニ古代ノ遺物トシテ世界第一ノ事業タリ

(4) 朝鮮八道ノ名稱及ヒ其都邑ヲ記入セヨ (暗射圖)

咸鏡道ニ慶興アリ。平安道ニ平壤、嘉山、義州、三和アリ。黃海道。京畿道ニ京城、仁川アリ京城ハ漢城府ノアル處ニシテ全國ノ首府トナス。江原道。慶尙道ニ釜山、梁山、金海府。全羅道、順天。忠清道ニ舒川府アリ

(5) 我國ノ條約國名及ヒ其政體首府並ニ商業及ヒ工業ノ中心場ヲ列擧セヨ (以下六題高等商業學校) 一時三十分間

國名	首府	商業ノ中心	工業ノ中心	政体
北米合衆國	華盛頓	ニューヨルク	ヘラデルフヒヤ	共和國
大不列顛國	倫敦	ロンドン	マンチユスター	帝國
露西亞	セントペートルボルグ	ワデスサ	モスコ	帝國
和蘭	アムステルダム	ロッテルダム	アムステルダム	王國
佛蘭西	巴黎	マスセイユ	リラン	共和國
葡萄牙	リスボン	ラホルト	リスボン	王國
獨逸	柏林	全	ムニツヒ	帝國
瑞典	ストックホルム	全	全	王國
白耳義	ブルセルス	アンベルス	ゲンド	王國
伊太利	ローマ	ゼノア	全	王國
丁抹	コッペンヘイゲン	全	全	王國
瑞西	ベルン	全	全	共和國
諾威	クリスチヤニヤ	全	全	王國
西班牙	マドリッド	ヴァレンシア	全	王國
奧地利	ヴィンナ	トリ、スト	ヴィンナ	帝國
布哇	ホノル	全	全	王國

清 國	北京	上海	北京	帝國
秘 露	リマ	カラヲ	リマ	共和國
朝 鮮	漢城	仁川	漢城	王 國
暹 羅	バンコック	全	全	王 國
墨其西歌	メキシコ	ヴェネクラツズ	メキシコ	共和國

右二十一ヶ國トス

(6) 左記地名ノ所在及其所屬國名ヲ問フ

- Vancouver, Saigon, Malta, Treast, Azores, New foundland, Luzon,
 Vancouver 英嶺カナダノ西岸 (英領)
 Saigon 後印度カンボヂヤノ南岸 (カンボヂヤニ屬ス)
 Malta 地中海中以太利ノ尖端 (以太利領)
 Treast 埃太利アドリア海岸 (埃領)
 Azores 西班牙ノ遙カ西 (葡萄牙領)
 New foundland 英領カナダノ東南岸 (英領)
 Luzon 亞細亞ノ南部フィリッピン諸島

(7) 世界中重ナル石炭及ヒ石油ノ產地ヲ問フ

石炭ハ北米合衆國英國及ヒ獨逸ヲ以テ最モ有名ノ產地トナシ石油ハ露西亞

及米國ヲ最モ多量ノ產地トナス

(8) 瀬戸内海ニ濱スル地方ト山陰及四國南岸ノ地方ト著シク雨量ノ差異アル理由

如何又冬季日本海航行ノ危険ナルハ何故ナルヤ

四國南岸ハ太平洋全面ヨリ吹來ル水分ヲ受クルカ故ニ雨量殊ニ多ク瀬戸内海々岸ハ之ニ比シテ少シ又日本海ニ濱スル山陰地方殊ニ北陸ノ能登ノ如キハ雨量實ニ多シトス明治廿四年ニ於テノ總量ハ岡山ハ七百七十六耗六ニシテ高知ハ二千六百六十五耗五ナルヲ見テモ其一般ヲ推スニ足ルベシ又冬期ニ於テハ亞細亞大陸非常ニ熱ヲ失ヒ茲ニ風ノ本源ヲ生ジ四方ニ吹キ出シ極地ヨリ赤道ニ向ヒ吹クモノト合勢スルヲ以テ日本海ハ暴颶アルヲ常トスルナリ

(9) 氣候ハ何種ノ事情ニ依リテ支配サルヤ

氣候トハ土地ノ位置ニ依リテ其空氣ノ乾濕寒暖ヲ異ニスルヨリ起リ之レカ變動ヲ來スモノハ其地ノ緯度高低潮流風向雨量ノ多寡土地ノ廣狹海洋ノ遠近等ナリ故ニ緯度ヲ同フスル土地ト雖モ右等ノ數件ヲ以テ見レバ其寒暖モ亦必ス同一ノ者ニアラサルナリ

(10) 氣候ノ動植物ノ生育發達ニ及ボス影響ヲ實例ニ就キ詳説スベシ

動植物ノ生育發達ニ及ボス氣候ノ影響ハ實ニ極大ナリ以上二物ノ榮衰ハ殆

ント氣候ノ爲ニ左右セラル、一ハ吾人ガ日常目撃スル處ニシテ現ニ植物ノ種類ニ於テモ其暖地ニ發茂シテ寒地ニ枯萎スルモノナリ例ヘバ(スピツチバ一ク)島ノ如キハ赤道ヲ去ル、甚タ遠キヲ以テ其類僅々三十種ニ過キスト雖赤道附近ノ如キハ實ニ數千種ニ下ラザルガ如シ

(11) 全世界中北緯三十五度ノ虛線カ遲過スル處ノ國名ヲ記セ (以下四題郵便傳信學校甲科)

日本、朝鮮、支那、アフガニスタン、トルキスタン、彼斯、小亞細亞、ユニス、アルゼリア、モロッコ、北米合衆國等ナリ

(12) 亞細亞洲ノ畧圖ヲ描ケ (答案ヲ畧ス)

(13) 歐羅巴洲並ニ亞米利加洲ノ海岸線出入ノ狀勢ヲ問フ又日本橫濱港ヨリ歐洲馬耳塞港並ニ米國ノ桑港ニ至ル哩數ヲ問フ

問題ノ前段ハ万国地理總記ノ部ニ出セルヲ以テ此ニ再記セズ
馬耳塞港ニ至ル哩數ハ九千三十五哩ニシテ桑港ノ哩程ハ四千七百三十二哩ナリ

(14) 太平洋中ニ於ケル主要ナル島ノ名ト位置ヲ示セ
日本帝國(亞細亞洲ノ東部)、ルソン(古世界ノ東南太平洋中ニ孤立ス)、ボルネオ(ルソンの南海ニ孤立ス)、ヒリツピン諸島(ルソンの南方ニ近接ス)、スマト

(15) ラ(ボルネオ)ノ西方ニアリ、ジャバヤ(ボルネオ)ノ南方ニアリ、セレブス(ボルネオ)ノ東方、バプア(セレブス島ノ西方)、埃太利亞(バプア島ノ南方)、ニユーゼランド(埃太利亞ノ西南)、サンドリツチ諸島(支那ノ正東遠海中ニ孤立ス)、バルカン半島沿岸ノ諸海灣及ヒ海峽ヲ列記セヨ
アドリヤチツク海、フトラント海峽、アイヲニヤン海、コリンス灣、多島海、ダルダネル峽、マルモラ海、ボスボラス峽、黒海

(16) 亞細亞洲ノ重ナル諸連山及ヒ其位置ヲ舉ケヨ
比馬刺山ハ西藏ト前印度トノ間ニアリ、崑崙山ハ中央西藏ニアリ、天山、アルタイ山ハ支那、ダルダリ、西比利亞ノ境界ニアリ、スタノボイ、シヤプロノイ二山脈ハ天山ノ東北ヨリ西伯刺ニ亘ル、興安嶺ハ支那滿洲ノ間ニアリテ前諸山ト連續ス、リバン山ハ支那ノ西南部ヨリ小亞細亞ニ亘ル、コ一カサス山ハ彼斯砂漠ノ中央ニアリ、ウラル山ハ亞歐二洲間ニ連續スル脈中ノ高山ナリ

(17) 亞細亞、亞弗利加、歐羅巴、各洲ノ最南端ニアル岬ヲ舉ゲヨ
亞細亞ノ南端ニハ、ブール岬ニシテマラツカ半島ニアリ亞弗利加ノ南端ニハ、アギハス岬アリ歐洲ノ南端ニハ、タリヌア岬アリ

(18) 北亞米利加洲ノ五大湖ノ名稱ヲ舉ゲ並ニ其水ノ流出シテ大洋ニ至ル河名ヲ記

セ
ヲンタリヲ、エリエ、ヒユウロン、ミシガン、シユールペリヲル、ノ五湖ニシ
テ此等五湖ノ全水ヲ流ス河流ハ一條ニシテ彼ノ有名ナル、シントローレンス
河則チ是ナリ

(19) 南亞米利加洲ノ三大河ノ名稱及ヒ其奔流スル方向ヲ記セ

ヲリノユ(東流シテ太西洋ニ注ク)、アマゾン(全上)、リヲデラブラタ(東南ニ流
レテ太西洋ニ注グ)

(20) 左ノ各市ノ所在ヲ記セ

リヲデヂヤチロ、カイロー、シカゴ、バルバライソ、コロンボ、ヲーク
ランド、カンダハル、リヲデヂヤロ(南米ブラシルノ東南岸)バルバライソ
ノ南米チリノ西岸)カイロー(埃及ノ首府)コロンボ(印度錫蘭島ノ南岸)シ
カゴ(北米合衆國イリノイズ州)ヲークランド(英領新蘭土ノ首府)カンダハ
ル(アフガニスタンノ中部)

(21) 大陸氣候及ヒ島嶼氣候ノ特性ハ如何

大陸ト島嶼ニ氣候ノ特性ヲ生ズル原因種々アリト雖多クハ凡テノ海濱又ハ
島國ニ在テハ陸海ノ兩風常ニ交換シテ晝夜ノ溫度ヲ平均スルト大陸ノ中央
ニ在テハ右調和ノ方便ナキヲ以テ氣候ノ差異特ニ甚シキトニアリ而シテ海

濱若クハ島國ノ氣候ヲ浴海氣候ト稱シ大陸中部ノ氣候ヲ内地氣候ト云レ

國ハ寒暑共ニ溫和ナレモ大陸國ニ至テハ冬ハ甚ダ寒ク夏ハ甚ダ暑シ

(22) 鑛泉並ニ温泉トハ如何又温泉ノ概テ鑛泉ナル理由ヲ問フ

鑛泉トハ泉水中ニ一種或ハ數種ノ鑛物ヲ溶解スル者ヲ云ヒ温泉トハ泉水ノ
溫度ノ溫度常水ニ超過スル者ヲ云フ是レ則チ温泉ノ大概鑛泉ナル理由ハ凡
テ固體ノ液體中ニ溶解スル者ハ液體ノ溫度ニ正比シテ其容量ヲ増スヲ以テ
溫泉中ニ常ニ多量ノ鑛物ヲ含有シテ即チ鑛泉トナル以所ナリ

第二章 日本地理

(1) 本邦海岸ヲ一周スルト仮定シ目標トナスベキ岬及要港ヲ記入セヨ (暗射圖)

(以下二題陸軍士官學校入學問題)

右ノ問題ハ暗射圖ニ記入スル者ナレハ固ヨリ周順ノ如何ニ關ラス故ニ此答
案ニハ東京灣ヲ發シ北方ニ向フテ一周スルノ順ニ因レリ

先ツ横濱ヲ解纜シテ東北ニ航海スレハ犬吠岬、銚子港、石之卷港、金華山岬、尻野
岬、箱館港、惠山岬、室蘭港、襟裳岬、厚岸港、納沙布岬、根屋港、知床岬、宗谷岬、野沙布岬、
小樽港、神威岬、酒田港、新潟港、直江津、伏木港、七尾港、敦賀灣、舞鶴港、赤間ヶ關、小倉
博多、唐津、佐世保、長崎港、佐多岬、鹿兒島港、蹊陀岬、高知、室戸岬、大王岬、鳥羽港、伊良

ランタリヲ、エリエ、ヒユウロン、ミシガン、シユーペリヲル、ノ五湖ニシテ此等五湖ノ全水ヲ流ス河流ハ一條ニシテ彼ノ有名ナル、シントローレンス河則チ是ナリ

(19) 南亞米利加洲ノ三大河ノ名稱及ヒ其奔流スル方向ヲ記セ

アリノコ(東流シテ太西洋ニ注ク)、アマゾン(全上)、リヲデラブラタ(東南ニ流レテ太西洋ニ注グ)

(20) 左ノ各市ノ所在ヲ記セ

リヲデヂヤチロ、カイロー、シカゴ、バルバライソ、コロンボ、ヨークランド、カンダハル、リヲデヂヤロ(南米ブラシルノ東南岸)バルバライソ(南米チリノ西岸)カイロー(埃及ノ首府)コロンボ(印度錫蘭島ノ南岸)シカゴ(北米合衆國イリノイズ州)ヨークランド(英領新蘭土ノ首府)カンダハル(アフガニスタンノ中部)

(21) 大陸氣候及ヒ島嶼氣候ノ特性ハ如何

大陸ト島嶼ニ氣候ノ特性ヲ生ズル原因種々アリト雖多クハ凡テノ海濱又ハ島國ニ在テハ陸海ノ兩風常ニ交換シテ晝夜ノ温度ヲ平均スルト大陸ノ中央ニ在テハ右調和ノ方便ナキヲ以テ氣候ノ差異特ニ甚シキトニアリ而シテ海

濱若クハ島國ノ氣候ヲ浴海氣候ト稱シ大陸中部ノ氣候ヲ内地氣候ト云レ

國ハ寒暑共ニ温和ナレト大陸國ニ至テハ冬ハ甚ダ寒ク夏ハ甚ダ暑シ

(22) 鑛泉並ニ温泉トハ如何、又温泉ノ概テ鑛泉ナル理由ヲ問フ

鑛泉トハ泉水中ニ一種或ハ數種ノ鑛物ヲ溶解スル者ヲ云ヒ温泉トハ泉水ノ温度ノ温度常水ニ超過スル者ヲ云フ是レ則チ温泉ノ大概鑛泉ナル理由ハ凡テ固體ノ液體中ニ溶解スル者ハ液體ノ温度ニ正比シテ其溶量ヲ増スヲ以テ温泉中ニ常ニ多量ノ鑛物ヲ含有シテ即チ鑛泉トナル以所ナリ

第一章 日本地理

(1) 本邦海岸ヲ一周スルト仮定シ目標トナスベキ岬及要港ヲ記入セヨ (暗射圖)

(以下二題陸軍士官學校入學問題)

右ノ問題ハ暗射圖ニ記入スル者ナレハ固ヨリ周順ノ如何ニ關ラス故ニ此答案ニハ東京灣ヲ發シ北方ニ向フテ一周スルノ順ニ因レリ

先ツ横濱ヲ解纜シテ東北ニ航海スレハ犬吠岬、銚子港、石之卷港、金華山岬、尻野岬、箱館港、惠山岬、室蘭港、襟裳岬、厚岸港、納沙布岬、根屋港、知床岬、宗谷岬、野沙布岬、小樽港、神威岬、酒田港、新潟港、直江津、伏木港、七尾港、敦賀灣、舞鶴港、赤間ヶ關、小倉、博多、唐津、佐世保、長崎港、佐多岬、鹿兒島港、蹊跎岬、高知、室戸岬、大王岬、鳥羽港、伊良

湖岬、御前岬、下田港ヲ經テ再ヒ東京灣ニ歸ル

(2) 九州山脈ノ連絡及脈中ノ高山ヲ枚舉セヨ

九州ノ山脈ハ東北隅ナル赤間關峽ヨリ起リ逶迤南走シテ其尾端ハ二枝トナリ大隅薩摩ノ二半島ヲナス脈中ノ高山ハ英彦、阿蘇、霧島ノ三嶽トス

(3) 三府五港及ヒ四國九州ニアル府縣廳ノ所在地ヲ記入セヨ(暗射圖)(以下二題陸軍幼年學校入學問題)

(イ) 三府五港ノ所在地ハ總起ノ部ニ記載アリ宜シク參照スヘシ

(ロ) 四國縣廳ノ所在地ハ左ノ如シ

德島縣(阿波ノ德島)、香川縣(讚岐ノ高松)、愛媛縣(伊豫ノ松山)、高知縣(土佐ノ高知)

(ハ) 九州縣廳ノ所在地ハ左ノ如シ

福岡縣(筑前ノ福岡)、大分縣(豊後ノ大分)、佐賀縣(肥前ノ佐賀)、熊本縣(肥後ノ熊本)、宮崎縣(日向ノ宮崎)、鹿兒島縣(薩摩ノカゴシマ)、沖繩縣(琉球ノ那覇)

(4) 日本國ノ位置廣袤境界

右ノ答案總記ノ部ニアリ參照スベシ

(5) 本邦海岸線ハ太平洋ニ面スル方ト日本海ニ面スル方ト何レカ出入多キヤ且ツ船舶ノ淀泊スベキ港ハ何レノ海岸線ニ多キヤ其重ナル五港ヲ舉ケヨ(以下五

題高等商業學校入學問題一時三十分間

太平洋ニ面スル方ノ海岸線ハ日本海ニ面スル方ニ比シテ海岸線ノ出入特ニ多ク從テ良港ノ船舶ヲ泊スヘキ處亦遙カニ多シ今其重ナル五港ノ名ヲ左ニ舉グ

橫濱、石之卷、下田、大坂、長崎ノ五港トス

(6) 本州及ヒ北海道ノ主ナル山脈ハ如何ナル方向ヲ取リ如何ナル地方ヲ走ルカ

本土ノ山脈ハ北海道ヨリ來リ陸奥ニ入テ鬱結シ奥羽ノ國界ヲ畫シテ南進シ猪苗代湖ノ東邊ヲ繞リ阿武隈川ノ水源傍ナル那須嶽ニ至ル迄ハ殆ント一直ニシテ甲駿ノ界ニ至リ隆起シテ富士山トナリ起伏シテ琵琶湖ノ北方ヲ過グルニ至リテハ山嶺最モ低シ更ニ崛起シ山陰山陽ノ境ヲ畫シテ赤間關ニ至テ盡ク北海道ノ山脈ハ千島及ビ樺太ヨリ來リテ全道ノ中央ニ屈起シ是ヨリ山脈ヲ四方ニ枝出シテ全道ヲ三水徑ニ分テリ阿哥斯海ノ水徑太平洋ノ水徑日本海ノ水徑則チ之ナリ

(7) 佐渡島、伊豆七島、淡路島、隱岐島、及ヒ五島ハ何道ニアリテ何レノ府縣ニ屬スルヤ

佐渡ハ北陸道ニアリ新潟縣ニ屬ス

伊豆ノ七島ハ東海道ニアリ東京府ノ管轄ニ屬ス

隱岐ハ山陰道ニアリ島根縣ノ所屬ナリ

五島ハ西海道ニアリ長崎縣ニ屬ス
淡路島ハ南海道ニアリ兵庫縣ニ屬ス

(8) 結城、敦賀、米原、及嚴原ノ地名ニ假名ヲ附シ且ツ其位置ヲ示スベシ

結城ハ下總ノ北隅ニアリ

敦賀ハ越前ノ北部ニ在テ海濱ニ接セリ

米原ハ近江國ニアリ

嚴原ハ對馬國下縣郡ニアリ

三角ハ肥後國ニアリ

(9) 本邦既成鐵道線路ヲ記スベシ

新橋ト神戸間 三百七十六哩

神戸倉敷間 百哩

上野青森間 四百五十二哩

仙臺鹽竈間 九哩

大船橫須賀間 十哩

大府武豐間 十二哩

金ヶ崎米原間 三十一哩

草津柘植間 二十二哩

難波堺間 六哩

湊町柏原間 十哩

直江津輕井澤間 九十二哩

横川大宮間 六十四哩

前橋高崎間 五哩

小山水戸間 四十一哩

小山前橋間 五十哩

宇都宮日光間 二十五哩

品川赤羽間 十二哩

新宿八王子間 二十三哩

博多熊本間 七十五哩

丸龜琴平間 十哩

松山三浦ヶ濱間 四哩

手宮幌内間 五十哩

右ハ當時既成鐵道線ノ概略ニシテ今尙延長工事中ナリ

(10) 日本ノ各道ニ付其面積ト人口ノ割合ヲ示シ且ツ其道中ニ於ケル最高ノ山最長ノ川並ニ市制施行ノ地名ヲ示セ (以下郵便傳信學校入學試驗問題)

(道名) (二方里ニ付面積) (最高山) (最長川) (市制施行ノ地名)

畿内 五千四百七十六人 犬鳴山 十津川 京都、大坂、堺、神戸

東海道 三千四百十三人 富士山 利根川 東京、横濱、津、名古屋、静岡、甲府、水戸

東山道 千二百七十七人 御岳山 北上川 秋田、米澤、山形、弘前、仙臺、岐阜

北陸道 二千三百六十八人 大蓮華山 信濃川 新潟、福井、金澤、富山

山陰道 一千六百三十人 大山 石見川 鳥取、松江

山陽道 二千五百六十四人 笠形山 高田川 姫路、岡山、廣島、赤間ヶ關

南海道 二千三百二十九人 劍山 吉野川 松山、徳島、和歌山、高知、高松

西海道 二千〇二十八人 温泉山 筑後川 熊本、佐賀、福岡、久留米、長崎、鹿兒島

北海道 四十二人 後方羊蹄山 石狩川

(11) 全國中最大ノ五湖沼ヲ大小ノ順ニ從ヒテ列舉シ各其所在ノ國名ヲ示セ (以下

二題第一高等中學校

琵琶湖(近江ニアリ)

霧ヶ浦(常陸ニアリ)

八郎潟(羽後ニアリ)

猪苗代湖(岩代ニアリ)

中ノ海(出雲ニアリ)

(12) 東海道各府縣廳ノ所在地ヲ示シ各其國名ヲ附記セヨ

東京府(武藏ノ東京) 崎玉縣(武藏ノ浦和) 千葉縣(下總ノ千葉)

茨城縣(常陸ノ水戸) 三重縣(伊勢ノ津) 愛知縣(尾張ノ名古屋)

静岡縣(駿河ノ静岡) 山梨縣(甲斐ノ甲府) 神奈川縣(武藏ノ横濱)

(13) 東山道中鑛物産額ノ最ナルモノ三個各々其地名ヲ附シテ之ヲ擧ケヨ

岩代ノ半田、羽後ノ院内、陸中ノ小坂、尾去澤、(以上四ヶ所ハ銀鑛山)

羽後ノ阿仁、下野ノ足尾、(以上二ヶ所銅山)

磐城、(以上石炭鑛)

歴史

第壹編 歴史總說

第壹章 万国歴史附支那史

(1) 歴史時代ノ三別ヲ問フ

歴史時代ノ區別法タル其法元ヨリ隨意ナリト雖モ通常之ガ全時代ヲ區劃シテ三トナス第一ハ古代史ニシテ埃及等ノ太古ニ於ケル建國ヨリ紀元四百七十六年西羅馬帝國ノ滅亡マデトシ第二ハ中世史ニシテ古代史ヲ繼ギテ紀元十五世紀ノ終ニ至リ第三ハ近世史ニシテ十六世紀ノ初ヨリ現時ニ至ルマデノ時期トナス

(2) 万国歴史ニ載スル處ノ上古諸國ノ略史ヲ記セヨ

埃及ハ紀元前二千七百年頃ニ於テメニース人下埃及ヲ征服シメンフィスニ都ヲ定メタルヲ以テ其建國トシ爾後第四期ニ至リ國大ニ振ヒ金字塔ノ建立モ蓋シ此時ニ在リト云フ然レモ後久シカラズシテ王權地ニ委シ國中四分五裂ノ姿トナル此時ニ於テヒクソスナル蠻族亞刺比亞ヨリ侵入シ遂ニ全國ヲ併吞シ爾後爭亂相繼ギ尋イデ紀元前千五百二十七年國民奮起シ遂ニヒクソ

スヲ放逐シテ獨立ヲ挽回シ爾來二三百年最盛ノ時代相繼ギシガ治ニ狎レ亂ヲ忘レ遂ニ紀元前五百二十五年波斯王カンビセスニ降服セラレ又亞歷山大王ノ屬國トナリ王死シテ其將トレミー之ヲ世襲シ紀元前三十年女王クレヲパトラノ世ニ至リ終ニ羅馬ノ郡縣トナレリ

加爾底亞ハ紀元二千三百年頃ニムロードナルモノ、建國スル所ニシテ首府ヲ巴比倫ニ定メタリ降テ千余年ヲ經テ亞述ノ爲ニ亡サル亞述ハ加爾底亞ヲ亡ボシタルノ後ニニヴニ都シ一時ハ其版圖延ヒテ埃及ニ及ビタルガ如キモ國內反亂絶ヘズ紀元前六百二十五年馬太及加爾底亞連合軍ノ爲ニ亡ボサル是ニ於テ加爾底亞再興シ之ヲ後巴比倫尼亞ト云フ王子ブカト子ザーノ時ニ至リテ繁富實ニ其極ニ達シタリシガ數十年ヲ經テ波斯ニ攻略セラレ今ヤ其隻影ヲ見ザルニ至レリ

希伯流國人ハ元來住居不定ノ牧畜者ナリシモ紀元前千三百二十年カナニ國ヲ建テタリ後ダビデ及ソロモンノ明主出デ國勢振興セリト雖凡久シカラズシテ衰ヘテ屬國トナリ反復常ナカリシガ紀元前六十三年羅馬ノ爲ニ亡サレ人民四方ニ散亂セリ其政體タル初ハ神政ニシテ後ニ王國トナレリ

腓尼西亞ハ地中海トリバノン山トノ中間ニ位スル小國ニシテ數都ニ分裂シ之ヲ統一スルノ君主ナシ其内最良ナル都市シドレ及タイルハ紀元前十一世

紀ヨリ航海通商ヲ盛ニシ英國及東印度マデモ往來シ殊ニ殖民地ヲ到ル處ニ設ケ且ツ字母(イロハ)ヲ發明シタルノ功ヲ以テ其名世ニ高シ諸隣國即チ其富榮ヲ羨怨シ亞述巴比倫比尼亞及波斯人等之ヲ攻メ尋デ羅馬ノ版圖ニ入レリ紀元前第八世紀ニ至リザクロス山脈ノ東ニ於テアリアン人種ニ處ニ其居ヲ占メ一ヲ馬太ト云ヒ一ヲ波斯ト稱セリ共ニ亞述ノ下ニ屈セシガ紀元前六百二十五年巴比倫人ト協力シ亞述ヲ亡シテ之ヲ分領セリ初メ波斯ハ馬太ニ服セシガ波斯王サイラス遂ニ馬太ヲ亡ボシ一大獨立國ヲ建立シダライアス一世位ニ陞ルニ及ンデ大ニ治國ノ方策ヲ講ジ大ニ内治ヲ改良セリ

印度人ハ波斯ノ東北部ヨリ來レルアリアン民族ニシテ土地ヲ畧シ茲ニ印度國ヲ建テタリ紀元前六世紀釋迦牟尼出デ、宗教及道德ノ腐敗ヲ改良セントシ其勢力大ニ強勢ナリシヲ以テ遂ニ波羅門徒ノ惡ム處トナリ國外ニ放逐セラレ、ニ至レリ

(3) 希臘民族ヲ代表スル二族ヲ問フ

ヘレニス即チ希臘民族中ドリアン人及アイヲニアン人アリ而シテドリアン人ハ其風質朴ニシテ舊習ヲ墨守シ商業美術ヲ忌ミ大ニ貴族政体ヲ望ミスバルタ市之ヲ代表シアイヲニアン人ハ改進華美ヲ好ミ美術商工ヲ愛シ自由ヲ尙ビ民主政治ヲ望ミアゼン市之ヲ代表ス而シテ此二市ハ希臘民族ニ冠タル

モノナリ

(4) 羅馬希臘兩國歴史ノ差異ヲ問フ

希臘ハ文學ヲ以テ鳴リ羅馬ハ政法ヲ以テ聞フ且ツ希臘ハ地形上自然ノ分裂ニヨリテ數小邦ニ分割シタリシガ羅馬ハ只ニ全國ヲ統一セルノミナラズ廣ク文明世界一般ヲ支配セリ且ツ希臘ハ航海殖民ニ意ヲ用キタルニ反シ羅馬ハ先ヅ之ヲ欠キ希臘ノ文明ハ東方ニ向ヒテ進ミ出デタリシガ羅馬文明ハ西方ニ向テ輸出セリ

(5) 羅馬ノ盛時ヨリ王國ニ至ルマデノ略史如何

羅馬ハ今ヤ諸國ヲ征服シ財貨ヲ集メ來リテ之ヲ道路橋梁溝渠等ノ公共事業ニ費シ昔時一小村落タルノ羅馬ハ世界無二ノ壯麗ヲ呈シ人民爲ニ奢侈ニ流レ武ヲ去リ文ニ流レ人心柔弱ニ陥リ道德地ヲ拂フニ至リ人民貧富ノ差甚シク千二百万ノ奴隸アツテ自由民ハ僅ニ五百万ニ過ギザリシト云フ是ニ於テ富貧二民ノ爭亂相踵ギグラツカス兄弟齒テ、保民官トナリ平民ヲ益セントシテ貴族ニ斃サレ尋テシラー及マリアスノ爭トナリ人民ノ之ニ死スルモノ十五万以上ニ及ベリト云フ時ニボンペー、クラツサス、及シザー相結ビ政府ヲ扑シテ三頭政治ヲ形成セルモ交互相爭ヒボンペー埃及ニ奔死シクラツカス東洋ニ戰没シ他ノ英傑シセロ、ケトローノ如キ前後相尋テ死シ是ニ於テシザ

一ハ唯リ政權ヲ握リ精ヲ勵マシ治ヲ求メ二年ノ歲月ヲ以テ偉大ノ事業ヲ成セシガ紀元前四十五年賊手ニ斃レ是レヨリ天下復タ大ニ亂レタリシガクラツカス出デ全勝ヲ占メテ國政ヲ一掌シ紀元前二十七年終ニ皇帝ノ位ニ上レリ

(6) 英吉利建國ヨリ大憲章ニ至ルマデノ歴史

英國ハアリアン族ケルツ人ノ一派ブリトン族之ニ住シ爲ニブリタニヤト稱セリ紀元前五十五年羅馬ノ名將セザルノ爲ニ征服セラレ爾後半屬國ノ姿ヲナスコト四百余年ニシテ五世紀ノ中頃ニ至リアングロサクソン人來テ之ヲ領シ國內七分シテ相凌轢シ二百余年間戰爭止マザリシガ九世紀ノ初ニ至リイセツクス王アグバート之ヲ統一シ其孫アルフレッド大王從來外寇ヲナセルデイン人ヲ破リタリシガ百余年ヲ經テ北人又來攻シ千十七年ニ至リ終ニ世紀ノ終ニ及ビジョン王暗遇ニシテ内ハ政ヲ整フル能ハズ外領地ヲ失ヒシヲ以テ貴族等相議シ千二百十五年王ニ迫リ終ニ憲法ヲ定メタリ此大憲章ニヨリテ國王ハ隨意ニ金錢ヲ徵課スルヲ得ズ又恣ニ人ヲ禁錮處罰スルヲ能ハズ必法廳ヲ開テ公明ノ裁判ヲナサシメ又農夫ヲ保護シテ其耕地ノ所有ヲ安全ニスル事トナレリ

(7) 日耳曼ノ建國ヨリ十五世紀ニ至ルマデノ畧史如何

シヤールマン帝國分裂後數百年ヲ經テ日耳曼王ヲット一世ニ至リ領土ヲ廣ゲ羅馬皇帝ノ尊稱ヲ得爾後日耳曼王ハ羅馬皇帝ノ位ヲ兼ヌルコトナリ以テ以太利ノ事端ニ干涉シ法皇ト相爭フニ至レリ爾後諸侯大ニ強ク王命振ハズ群雄相軋リ民力亦凋弊シ爲ニ十五世ノ始ニ至リ諸侯相議シテ埃太利侯アルバート二世ヲ舉ゲ帝位ニ即カシメ爾後三百余年間帝位ハ埃太利家ノ占有スル處トナレリ

(8) 歐洲封建制度ノ起原ヲ問フ

日耳曼人種殊ニ其フランク族ハ一旦他ノ國土ヲ領セルキニ於テ酋長ハ其得タル所ノ土地ヲ以テ部下ト自己トニ分チ其土地ハ自己ノ私有ナルト全時ニ租稅ヲ納メ兵ヲ率キテ軍ニ從フノ義務アリ其上ニ位スル君主タルモノハ危難ノ際ニ於テ之ヲ保護スルノ事アルノ風ヲ有シ是レ即チ封建制度ノ起原ヲナセリ

(9) 中古ニ於ケル文明

中古時代ノ初メヨリ凡六世紀間ヲ暗世ト稱シ野蠻人跋扈シ文明ノ隻影ナク只僧侶ノミ多少ノ學術ヲ具ヘ之ヲ後世ニ傳ヘタルノミ降テ十一世紀ノ終ニ至リ文化次第ニ進ミ大學校ノ設立歐洲諸國ニ起レルモ概テ形而上ノ學問ヲ

(10) 以太利ノ近世史ヲ問フ

研究セシガ十三世紀ノ頃ヨリロージャ、ベールコン、アルバード、マグナス等ノ學者現ハレ奇說實話從テ出デ理化學漸ク起リ十四世紀ニ及ビテハ製紙印刷ノ發明等アリテ學術ノ進歩ニ著シキ影響ヲ與ヘタリ
以國ハ永ク埃國ノ配下ニアリシガ千八百四十八年ノ佛國革命及ビ日耳曼變動ニ刺激セラレテ革命黨蜂起シ埃國ニ抗シタリシモノーバラニ大敗セリ然ルニ尋デサルヂニアノ明主グイクトルエムヌニユエル大志ヲ以テ賢相カブール及勇將ガリバルヂート謀リ遂ニ宿望ヲ達シ王ハ千八百六十一年ノ國會ヲ以テ以太利國王ト定メラレ從來四分五裂ノ國今ヤ全ク統一セラレテ歐洲六大強國ノ一タルニ至レリ

第二章 日本歷史

(1) 神代ニ於ケル人民開化ノ程度如何

神代ニ於テ人民ノ下等ナルモノハ穴居ヲナシ稍上等ニ進メバ木造家屋ヲ營ミテ之ニ棲息セリ食物ハ五穀魚鳥獸肉ヲ以テ之ニ供シ罟羅弓矢ヲ以テ漁獵シ舟楫ノ器具ヲ有セリ衣服ハ皮革布帛ヲ用ヒ玉又ハ小鈴ヲ以テ之ヲ飾リ兵器ニハ十握劍、八握劍、頭槌劍、廣矛、瓊矛、天鹿兒弓、天羽々矢等アリ

(2) 神功皇后三韓征討ノ目的如何

仲哀帝治世ノ前後ニ於テ九州ノ一隅ニ割據スル熊襲ノ反復常ナク私ニ韓土ト交通シ或ハ後漢ノ光武帝ヨリ封爵ヲ受ケテ委奴國王ト稱スルアルニ至リ王師モ亦如何トモスル能ハザルノ觀アリシカバ皇后即チ意ヲ決シ一ハ其反根ヲ勦絶シ一ハ彼ノ文物制度學術醫曆工術等ヲ我國ニ取ランガ爲ニ此征伐ヲ行ヒ給ヒタルナリ

(3)

探湯トハ何ゾ
我國民ハ神祇ヲ敬シ祖先ヲ尊ブノ美德ヲ具フルガ故ニ諸事皆神明ニ誓テ行ハザルハナカリキ探湯モ亦其一種ニシテ手ヲ以テ熱湯ヲ探リ其變化ナキヲ正トシ其爛壞セルヲ邪トセリ允恭天皇ノ世姓氏ノ混濫ヲ正スニ之ヲ用キ又是ヨリ先武内宿禰ガ弟甘美眞手ト曲直ヲ争フキニ於テモ之ヲ用キタリ蓋シ其濫觴タル遠ク神代ニアルベシト雖凡史上之ヲ認ムル能ハズ

(4)

氏族ノ三別ヲ問フ
第一皇別第二神別第三蕃別ナリ皇別トハ即チ神武以後列聖ノ胤系ニシテ神別トハ神代ニ於ケル諸神ノ裔孫ナリ又蕃別トハ外國歸化人ノ後裔ヲ指スモノニシテ支那又ハ朝鮮人ノ歸化セルモノトス
自國ノ金屬ヲ以テ鑄錢セシハ何ノ世ゾ

(6)

元明天皇和銅元年武藏國ヨリ銅ヲ獻ゼリ朝廷之ヲ以テ初メテ錢ヲ鑄ラシム
文ニ和同開珎ト書シ當時官ノ定ムル處穀六升ニ銅一文ナリ

(7)

元明天皇ノ和銅三年初テ大和ノ奈良ニ都シ左右ノ京坊ヲ立テ、帝京ノ規模ヲ大ニセリ後、元正、聖武、孝謙、淳仁、光仁、桓武ニ至リ凡八代八十五年間茲ニ都シ桓武帝ノ延歷十三年遂ニ山城國葛野即今ノ京都ニ遷都セラレタリ
後三條天皇藤原氏ノ專權ヲ抑フ
帝藤原氏ノ出ニアラザルヲ以テ東宮ニアルノ時ヨリ其專橫ヲ抑制セントスルノ志アリ一旦位ニ即クニ及ンデ庶政ヲ親ラシ記録所ヲ置キテ民ノ訴訟ヲ聽キ莊園ヲ廢シ關白敎通ノ如キハ只官位ニ具ハルノミ然レ凡在位永カラズ又帝ノ所爲少シク急激ニ過キタルヲ以テ猝ニ其成果ヲ見ルニ至ラザリキ

(8)

賴朝ガ鎌倉幕府ノ官制及其當初ノ役人ヲ問フ
官職及官廳ノ名 役員及ビ當初ノ役人

職掌

(一) 執權(又後見職ト稱ス) (北條時政)

内外ノ總務ヲ管ス

(二) 政所

別當大江廣元

政令ヲ出ス

(三) 問注所

執事(三好康信)

訟訴ヲ判決ス

(四) 侍所

別當和田義盛所司(梶原景時)武人ヲ管理ス

(2) 神功皇后三韓征討ノ目的如何

仲哀帝治世ノ前後ニ於テ九州ノ一隅ニ割據スル熊襲ノ反復常ナク私ニ韓土ト交通シ或ハ後漢ノ光武帝ヨリ封爵ヲ受ケテ委奴國王ト稱スルアルニ至リ王師モ亦如何トモスル能ハザルノ觀アリシカバ皇后即チ意ヲ決シ一ハ其反根ヲ勦絶シ一ハ彼ノ文物制度學術醫曆工術等ヲ我國ニ取ランガ爲ニ此征伐ヲ行ヒ給ヒタルナリ

(3) 探湯トハ何ゾ

我國民ハ神祇ヲ敬シ祖先ヲ尊ブノ美德ヲ具フルガ故ニ諸事皆神明ニ誓テ行ハザルハナカリキ探湯モ亦其一種ニシテ手ヲ以テ熱湯ヲ探リ其變化ナキヲ正トシ其爛壞セルヲ邪トセリ允恭天皇ノ世姓氏ノ混濫ヲ正スニ之ヲ用キ又是ヨリ先武内宿禰ガ弟甘美眞手ト曲直ヲ争フキニ於テモ之ヲ用キタリ蓋シ其濫觴タル遠ク神代ニアルベシト雖モ史上之ヲ認ムル能ハズ

(4) 氏族ノ三別ヲ問フ

第一皇別第二神別第三蕃別ナリ皇別トハ即チ神武以後列聖ノ胤系ニシテ神別トハ神代ニ於ケル諸神ノ裔孫ナリ又蕃別トハ外國歸化人ノ後裔ヲ指スモノニシテ支那又ハ朝鮮人ノ歸化セルモノトス

(5) 自國ノ金屬ヲ以テ鑄錢セシハ何ノ世ゾ

元明天皇和銅元年武藏國ヨリ銅ヲ獻ゼリ朝廷之ヲ以テ初メテ錢ヲ鑄ラシム文ニ和同開珎ト書シ當時官ノ定ムル處穀六升ニ銅一文ナリ

(6) 平城朝ノ開始及其列聖ヲ問フ

元明天皇ノ和銅三年初テ大和ノ奈良ニ都シ左右ノ京坊ヲ立テ、帝京ノ規模ヲ大ニセリ後、元正、聖武、孝謙、淳仁、光仁、桓武ニ至リ凡ハ八代八十五年間茲ニ都シ桓武帝ノ延歷十三年遂ニ山城國葛野即今ノ京都ニ遷都セラレタリ

(7) 後三條天皇藤原氏ノ專權ヲ抑フ

帝藤原氏ノ出ニアラザルヲ以テ東宮ニアルノ時ヨリ其專權ヲ抑制セントスルノ志アリ一旦位ニ即クニ及ンデ庶政ヲ親ラシ記録所ヲ置キテ民ノ訴訟ヲ聽キ莊園ヲ廢シ關白敎通ノ如キハ只官位ニ具ハルノミ然レモ在位永カラズ又帝ノ所爲少シク急激ニ過キタルヲ以テ猝ニ其成果ヲ見ルニ至ラザリキ

(8) 賴朝ガ鎌倉幕府ノ官制及其當初ノ役人ヲ問フ

- | | | |
|-----------------|----------------|----------|
| 官職及官廳ノ名 | 役員及ビ當初ノ役人 | 職掌 |
| (一) 執權(又後見職ト稱ス) | (北條時政) | 内外ノ總務ヲ管ス |
| (二) 政所 | 別當(大江廣元) | 政令ヲ出ス |
| (三) 問注所 | 執事(三好康信) | 訟訴ヲ判決ス |
| (四) 侍所 | 別當和田義盛所司(梶原景時) | 武人ヲ管理ス |

(9) 足利氏ノ權ヲ鎌倉ニ別チタル素心ヲ問フ

光明天皇ノ世ニ於テ足利尊氏征夷大將軍ニ任ゼラレ幕政ヲ京師ニ創メ之ヲ室町幕府ト稱セリ是レ南朝ノ京師ヲ伺フニ備フモノニシテ之レト全時ニ其子基氏ヲ鎌倉ノ主トナシ別ニ一政廳ヲ開ケリ蓋シ足利氏下野國ニ起リ東國人士ノ之ニ頼ルモノ多ク今尊氏京師ニノミアル片ハ已ガ根據トナル關八州ハ空虛ニ屬シ加之北畠親房父子大軍ヲ以テ與羽ニ在ルガ故ニ茲ニ即チ鎌倉府ヲ開クニ至レリ

(10) 戰國ヲ際重ナル大名並ニ其割據セル地方ヲ問フ

近畿 織田信長、美濃、尾張、近江、山城、大和、河内 北畠信雄、伊賀、伊勢、志摩

羽柴秀吉、攝津

根來僧徒及畠山氏(紀伊)

東山、東海、武田今川二氏(甲斐、信濃、駿河)

關東 北條氏(武藏、相模、伊豆)

里見氏(安房、下總ノ内)

宇都宮喜連川二氏(下野、下總)

佐竹氏(常陸)

奧羽 南部、伊達、大崎、相馬、蘆名ノ諸氏(陸奥地方)

秋田、大寶寺、最上ノ諸氏(出羽地方)

北陸 上杉謙信(越後)、越中、飛騨、能登、加賀、上野、佐渡

山陰、山陽、毛利氏(周防、長門)、安藝、備中、備後、伯耆、出雲、隱岐等

山名氏(但馬、因幡)

一色氏(丹後)

宇喜多氏(備前)

浦上氏(美作)

赤松別所二氏(播磨)

波多野氏(丹波)

四國 細川三好(阿波、讃岐)

長曾我部(土佐)

河野(伊豫)

九州 大友氏(豊前、豊後、肥後)

島津氏(薩摩、大隅、日向)

龍造寺氏(筑前、筑後、肥前)

宗氏(壹岐、對馬)

(11) 西洋學ノ起原ヲ記セ

寶永年間、徳川家宣始メテ新井君美ニ命ジ羅馬人及和蘭人ニ接シ外情ヲ探ラシメタルヲ以テ西洋學ノ權輿トス。將軍吉宗ニ至リ醫士桂川、甫、筑、儒士青木、文藏及長崎人西川如見等ニ命ジテ蘭人ニツキ蘭語及歷數醫術ヲ研究セシメ爾後相繼テ之ヲ研究スルニ至レリ

第二編 歷史補遺

第一章 萬國歷史 附支那史

(一) 唐ノ吳元濟ノ叛 (士官校 二題)

唐ノ世初メ彰義ノ節度使少誠死シ其弟少陽ナルモノ自ラ軍府ヲ領シ竊ニ亡命者ヲ養フ少陽死シテ子元濟之ヲ嗣ギ兵ヲ縱テ侵掠ヲ事トシ延テ東畿ニ及ベリ憲宗皇帝即チ十六道ノ兵ヲ發シテ之ヲ討ツ平慮ノ節度使李師道元濟ヲ赦サント請ヘドモ許サレズ裴度淮西ノ行營ヲ宣慰シ還リ奏シテ曰ク淮西必取ルベシト帝即チ兵事ヲ舉ゲテ之ヲ同平章事武元衡ニ委セリ師道從來刺客奸人ヲ養フ客請フテ密ニ往テ元衡ヲ刺サバ則チ他相ハ必爭テ天子ニ勸メ以テ兵ヲ罷ムルニ至ルベシト云ヘリ元衡入朝セルノ時ニ於テ賊ノ爲ニ害セラレタリシガ故ニ帝大ニ怒リ急ニ賊ヲ討ゼリ裴度ヲ同平章事トシ彰義ノ節度使トナシ淮西宣慰招討使トナシ諸軍ヲ督シテ進マシメ尋デ戰テ之ヲ擒ニシ檻シテ京師ニ送リ之ヲ斬ル其叛シテヨリ誅ニ及ブマデ凡ニ二歲時ニ元和十二年ナリ

(二) 十字軍ノ源因結果

十字軍ノ源因トスル處ハ基督ノ聖墓今 土ヲ其人ノ手ニ在リ之レニ巡禮參詣ヲナスモノ爲ニ苦メラレビターゼハアーミットナルモノ其實況ヲ目撃シ之レヲ歐洲各君主ニ訴ヘ義兵ヲ出サシメタルニナリ
而シテ其歐洲人ニ與ヘタル結果タルヤ (一) 外國殊ニ東洋ヲ惡ムノ情ヲ去レリ (二) 天下ノ地理山川ヲ知得セリ (三) 商業交通ノ道ヲ開ケリ (四) 小諸侯ハ爲ニ産ヲ傾ケ大ニ封建制度滅亡ヲ急速ナラシメタリ (五) 一時聖墓ヲ回復セルモ暫クニシテ又土耳其人ノ手ニ歸セリ (六) 歐洲人ハ大ニ同情心ヲ發揮セリ等ノ諸事ナリトス

(三) 齊魯夾谷ノ會 (幼年學校)

支那戰國ノ時孔子魯ノ大司寇タリ時ニ定公ヲ相ケテ齊ノ君景公ト夾谷ニ相會セリ孔子定公ニ云テ曰ク文事アルモノハ必武備アリ請フ左右ノ司馬ヲ備ヘテ從ハント既ニ會スルニ及ンテ齊ノ有司四方ノ樂ヲ奏セント請ヒ旌旄劍戟鼓鞀シテ至レリ孔子趨リ進ミ出デ、曰ク兩君好會スル宜ク夷狄ノ樂ヲ用フベカラズト齊君作チ命ジテ之ヲ退カシメ是ニ於テ齊又タ宮中ノ樂ヲ奏シ優倡侏儒戲レテ前ミシカバ孔子叱シテ之ヲ誅スベシト威嚇シ有司即チ法ヲ加ヘ首足處ヲ異ニセリ景公懼レ歸テ其臣ニ語テ曰ク魯ハ君子ノ道ニヨリテ其君ヲ輔ク而ルニ子等獨リ夷狄ノ道ヲ以テ寡人ヲ教フト即其侵ス所ノ魯領

鄆汝陽龜陰ノ地ヲ歸シテ罪ヲ謝セリ

(四) 支那ニテ所謂南倭ノ寇トハ如何ナルモノゾ (以上二題海軍兵學校)

支那明ノ世其末路ニ及ビ權臣ノ專恣ニヨリ明室ノ式微日ニ甚ダシク國人亦倭商ヲ虐待セルガ故ニ南倭久シク浙江ヲ浸シ其害江北ニ及ビ王抑等ノ盡力ニヨリ平定セラレタリト雖モ十二年ノ久シキニ亘リ大ニ財源ヲ竭クセリ

(五) 林則徐ガ鴉片ノ輸入ヲ禁セシ結果如何

林則徐鴉片ノ輸入ヲ禁シ之ヲ燒棄シテ互市ヲ禁ゼルガ故ニ英人大ニ怒リ軍艦二艘ヲ以テ廣東ニ迫リ舊ノ如ク互市センコトヲ求メタリシモ則徐之ヲ許サズ英人即チ船舶三隻ヲ摧キ香港ヲ下シ又米人ヲ以テ成ギヲ求メ尋デ又憤激シテ戰フヲ甚タ急ナリ數十艦ヲ列シ舟山乍浦ヲ取り寧波ヲ取ラントシ清軍大敗セリ英人又和ヲ求メ帝宣宗之ヲ許サントセルモ英兵攻撃ヲ止メズ帝大ニ怒リテ綿璉親王ヲ大將トシテ大ニ戰ヒ又敗績セリ是ニ於テ英人ノ曰ク支那人ニシテ若シ軍ヲ六十里ノ處ニ退却セシメ六萬兩ヲ出サバ戰ヒヲ止ムベシト然ルニ英人ハ其援兵ヲ得ルニ及デ又戰ヒ清軍大ニ敗績シ遂ニ布耆等ニ命ジテ二千六百萬兩及香港ヲ英ニ與ヘ廣東福州寧波上海廈門ノ五港ヲ開キ其地ニ於テ外人ノ治外法權ヲ許シテ其局ヲ結ブニ至レリ

(六) カルセーシ國ノ興廢沿革ニ就テ大要ヲ問フ (以下五題二時間高等商業學校)

紀元前三世紀ノ頃羅馬ガ民主政ノ基礎立セルノ地地中海ニ通商殖民ヲ盛ニセル強國アリ是レ即チカルセーシ國ナリ然レモ遂ニ羅馬ト衝突ヲ生シ之ガ爲ニ亡ボサレ全民悉ク焚死セリ

(七) 歐洲中古商工業ノ概況ヲ記セ

商業ノ中古上世ニ於テハ希臘人概チ商權ノ一部ヲ有シタリシガ降テ十字軍ノ起ルニ及デ以太利ハ商業ノ中心トナレリ又工業ニ於テハ各國別ニ隆盛ヲ見ズ只上古ノ模倣ニ過ギザリシガ降テ十二世紀以後ニ及ビテ砂糖硝子紙磁石等ノ製出アルヲ見ルニ至レリ

(八) チュードル王統ノ時代英國ニ於ケル宗教ノ變化ハ如何

チュードル王統第二代ノ王ヘンリー八世暴君ニシテ屢皇后ヲ換ヘ爲ニ法王ト相爭ヒ新舊兩教徒ト共ニ虐待ニ苦シメリヘンリー死シ十一年ヲ經テ皇女エリサベス位ニ即キ新教ヲ以テ國教トシ自ラ宗教上ノ主權ヲ握リ舊教徒ヲ壓服セリ

(九) 西班牙王位繼承ノ亂ハ如何ニシテ發生セシカ

佛ノナポレヨン三世ハ常ニ普魯西國ノ盛大ヲ惡ミ好機ニ乘シテ之ヲ弱メントセルニ恰モ今ヲ去ル二十餘年ニ於テ西班牙ノ王位ハ普王ノ親戚レヲポルドナルベントノ風説アリシヲ以テナポレヨンハ即チ口實ヲ構成シテ之ヲ妨

遏シ茲ニ戰端ヲ開クニ至レリ

(十)

クリシア戦争ノ原因結果
クリシア戦争ノ原因ハ露國ガ土耳其ヲ蚕食センガ爲ニ口實ヲ構ヘ土耳其領

地内ノ希臘加特力教徒保護權ヲ請求シ土國ノ之ヲ拒メルニアリ
此結果タル露國ハ其要求ヲ廢シ在土耳其法教徒ハ之ヲ歐州列國ノ保護下ニ
置キ又露國ハ小地ヲ土耳其ニ與フヘク黒海ニハ土耳其ヨリ多數ノ武庫船艦
ヲ備フベカラザルコトナレリ

(十一)

豐臣秀吉ガ日本ニ振ヒシ頃ニ於ケル支那及歐州各國歴史界ノ景勢ハ如何 (電
信郵便學校甲科以下三題)

(支那) 明ノ神宗ノ世ニシテ賢相張居正位ニ在リ名將李如松アリ我日本秀吉ノ
來攻ノ爲ニ朝鮮ヲ救ヒ又清ノ來襲アリキ

(歐州) 諸國ノ一般ヲ畧記センニ佛王反對黨ト和シ英人西班牙軍ヲマルタ島ニ
敗リスコトランド女王マリアハ殺サレ英國ハ印度ト通商ヲ初メ瑞典王耶
蘇新教ヲ禁シ且ツ魯ト戰ヒ荷蘭人初テ兵船ヲ作り葡萄牙人ト共ニ南洋ニ通
商セリ

(十二)

波斯戦争、十字軍、百年戦争、三十年戦争、普佛戦争、米國南北戦争ノ原因結果、其起
及終局セル年月并之ニ關係シ名將策士ヲ記セヨ

(戰名)

波斯戦争

(原因)

希臘人在小

(結果)

(起端年月)

(終局年月)

(名將策士)

亞細亞ナル
土耳其ノ小
市ヲ燒キタ
ルニアリ

波斯軍敗歸
シテ又歐州
ヲ窺ハズ

紀元前五百
九十二年

全七百七
十九年九
月二十五
日

波斯王ダアイス
波斯將マルトニアス
アゼンノ將ミルタイヤデス
波斯王ザアークゼス
アゼン將セミストクルス
ブイロン侯クツドローレ
ピトターゼハアミット
ノーマンド侯ロルド
佛王ルイ七世
日耳曼王コンラット三世
英王リチャード
佛王フィリップ
日耳曼王フレデリック
全

十字軍

(二)ニアリ

(二)ニアリ

紀元千九百
六年

千二百七
十年

英王エドワード三世
佛王フィリップ
全
佛王チャールズ五世
全
英王ヘンリー五世
佛王チャールズ六世
佛女將ジャンダーク

百年戦争

英王ロバート
設ケテ佛ノ
王位ヲ得ン
トス

英國ニ於テ
ノルマン
サクソンニ
族ヲ親カラ
シメ又佛國
ニアル英領
悉ク佛ニ歸
シロハカレ
ズ

千三百二十
八年

千四百五
十三年

佛王フィリップ
全
英王ヘンリー五世
佛王チャールズ六世
佛女將ジャンダーク

三十年戦争

新舊兩教國ノ軋轢

瑞西和蘭ハ獨立シ日耳曼ノ新教徒ハ宗教ノ自由ヲ得

千六百十八年 千六百四十八年

日耳曼王フアチナンド二世 其將ワーレンスタイン 瑞典王カस्ताビアスアドルフス

普佛戦争

西班牙王位繼承ノ

佛國敗レアルザス、ロレン二州ヲ獨ニ與フ

千八百七十年七月 千八百七十年十一月

佛王ナポレオン三世 普王ウイリアム 普相ビスマー

米國南北戦争

南部ハ奴隸ヲ使役セン

南部負ケテ合衆國全部トシ北部ハ遂ニ奴隸ヲ之ヲ廢セン

千八百六十年 千八百六十五年

南部ノ大將リー 北部ノ大將グラント 大統領リンコルン 南部大統領ダーヴィス

(十三)

ペリクルスハ希臘人ニシテアゼンノ民權黨主領トナリテ自ラ其政權ヲ左右シ大ニ人民ノ自由心ヲ發揮セリ而シテ是レ實ニ波斯戦争中ノイナリトス

ハシニバルハカーセーゾノ大將ニシテ大ニ羅馬ヲ惱マシ一時ハ羅馬ヲシテ累卵ノ危ニ陥ラシメタレ凡紀元前二百二年サマノ大敗後ハ諸國ニ流寓シミスリデーツ王ノ參謀トナリ羅馬ニ抗セシガ事成ラズシテ遂ニ死セリ

ニ至ル王ノ上位ニ立テ實權ヲ振ヒ、歐州ニテハ第一等ナレ凡自國ニテハ第二等ノ人傑ト呼バレタル人ナリ

カリバルデーハ近世伊太利統一ニ與テカアル名將ナリ

(十四)

古代著明ノ大國ニシテ既ニ滅亡セシモノヲ列舉セヨ (第一高等中學二級以下四題)

埃及、カルチア、アツシリア、バビロニア、メジア、ヘブル、フェニシア、印度、カーセイヂ、羅馬、

(十五)

歐州ニ於ケル日耳曼民族ト羅甸人種トスレーヴ人種トヲ國別セヨ

- (1) 日耳曼民族ハ北部ノ半島及西北ノ諸島ニアリ (佛蘭西、和蘭、比耳義、獨逸、奧太利、瑞典、那威、薩馬、英國)
- (2) 羅甸民族ハ歐州ノ西部ニアリ (以太利)
- (3) スレーヴ人種ハ東部ノ平地ヨリ南東ノ半島ニ住ス (以太利及西班牙半島ノ一部、露國)

(十六)

左ノ實事ノ年代ヲ明記セヨ 西羅馬帝國滅亡、ウイリアム英國征服、アメリカ發見

紀元四百七十六年

ウイリアム英國征服 全 千六十六年

アメリカ發見 全 千四百九十二年

(十七)

普佛戦争ノ顛末ヲ記セヨ

ルイナポレオン佛國ノ大統領トナリ竊ニ其伯父ナポレオンボナバルトノ爲ス處ニ倣ハント欲シ國會ヲ解散シ千八百五十二年遂ニ帝ト稱シナポレオント唱ヘタリ爾後普國ノ漸次強大ナルヲ惡ミ西班牙王位相續ヲ名トシ(九)ヲ參照スベシ千八百七十年之レト開戦シ尋デ大敗シテ囚擒ノ身トナリ償金五十億フランク及アルザス、ローレン二州ヲ割與シテ和ヲ行ヘリ

第二章 日本歴史

(一) 清麿大隅ニ流サル、ノ始末 (幼年學校以下二題)

人皇四十六代孝謙天皇僧道鏡ヲ寵シ大臣禪師トナシ其重スルニ及テ之ニ授クルニ法皇ノ號ヲ以テシ服食供御ニ準ゼリ道鏡爲メニ專暴ヲ恣ニス時ニ主神中臣阿曾麿道鏡ニ媚ビ神詔ニ托シテ位ヲ道鏡ニ禪ラバ天下太平ナラント奏セリ帝即從五位下和氣清麿ヲ宇佐八幡ノ廟ニ遣ハシ奉幣セシム發スルニ臨ミテ道鏡威スニ禍福ヲ以テセリ清麿歸リ奏シテ曰ク我國君臣ノ分定マレリ未タ臣ヲ以テ君トナルモノアラス天日嗣ハ必皇胤ヲ立テ無道ノ輩ハ早ク之ヲ除クベシト道鏡大ニ怒リ之ヲ大隅ニ流シ人ヲシテ之ヲ殺サシメントシテ成ラズ

(二) 僧公曉實朝ヲ弑スルノ始末

初源實朝右大臣ニ拜シ上皇特ニ車服ヲ賜ハリタルガ故ニ將ニ二十七日戌刻ヲ以テ拜賀ノ禮ヲ鶴岡ノ社ニ行ハントセリ大江廣元源仲章之ヲ諫ムレモ聽カズ禮畢テ將ニ階ヲ降ラントス公曉後ヨリ出テ暗ニ乘ジテ之ヲ斬リ大呼シテ別當公曉父ノ仇ヲ報ズト告グ蓋シ公曉ハ源賴家ノ第二子ニシテ實朝ハ賴家ノ弟ナリ曩ニ北條時政賴家ヲ弑シ實朝爲ニ榮位ニ進ムヲ得タルヲ以テ事ノ茲ニ出デシニ外ナラズ而シテ公曉亦直ニ捕斬セララル

(三) 新田義貞藤島ニ敗死ス (士官學校)

後醍醐天皇尊氏ノ伴リ降ルヲ納ル、ノ時ニ於テ帝義貞ヲシテ皇太子恒良及皇子尊良ヲ奉シテ北陸ニ赴カシメタリ義貞即敦賀ニ出デ金崎城ニ入りテ賊ノ圍ム所トナリ茲ニ詔書ヲ得テ帝ノ吉野ニ逃レタルヲ知リシガ城遂ニ陥リ皇子尊良義顯自殺シ皇太子恒良モ亦賊ニ執ヘラレ後尊氏ノ鳩殺ニ逢ヘリ義貞又帝ノ手書ヲ得テ次子義興及顯信ノ男山ニ據ルヲ援ケンガ爲ニ赴キシガ男山陥ルト聞キ引キ還リテ足羽ヲ攻ム偶々寡兵ヲ從ヘテ藤島ニ赴ク途ニ賊兵ニ逢ヒ日暮レテ援フモノナシ終ニ流矢ニ中リテ卒ス年三十八賊兵其何人タルヲ知ラズ從兵ノ屍ヲ圍ミテ自殺セルヲ見恠ミテ之ヲ檢シ帝ノ手書ナル錦囊書ヲ得タリ因テ其義貞ナルヲ知レリ

(四) 孝德帝大化新制ノ大略ヲ擧グベシ (高等商業學校以下二題)

中大兄(天智天皇)蘇我氏ノ奸恣ヲ除キ藤原鎌足、高向玄覺、僧日文等ト策ヲ定メ時政ノ將ニ封建制度ニ陥レルノ弊ヲ一洗センガ爲ニ全ク支那制度ヲ採用セリ

大連ヲ罷メ左大臣及内臣ヲ置キ初テ年號ヲ建テ、大化ト稱シ鐘匱ヲ設ケテ民ノ訴ヲ聽キ土地ノ賣買兼併ヲ禁ゼリ二年大ニ新制ヲ宣シ標代ノ民屯倉及田莊ヲ廢シ全國ヲ公地トシ食封ヲ太夫以上ニ賜ヒ戶籍、計帳、班田、租庸調ノ法ヲ定メ國ヲ別テ郡里トナシ八省百官及ビ十九階ノ冠ヲ制定セリ

(五) 德川家康ノ文學ヲ再興セシ大略ヲ舉グベシ

德川家康天下ヲ得テ之ヲ治ムルニ文學ヲ以テセントシ朱子ノ學術ヲ布ケリ即チ慶長五年豫テ招聘セル藤原肅ニ諮リ有司ニ命ジ經籍ヲ刊行シテ之ヲ頒テルガ如キハ以テ其一端ヲ窺フニ足ルベシ

(六) 大化ノ改新、幕政ノ創始、元弘ノ新政トハ何ゾヤ (電信郵便學校甲科以下二題)

(I) 大化ノ改新 (四ニ詳ナリ)

(II) 幕政ノ創始 源賴朝平氏ヲ滅ボシテ兵馬貢稅ノ權ヲ手ニシ鎌倉ニ幕府ヲ開始ス是レ實ニ人皇八十代高倉天皇治承四年ニアリ(組織ハ總記(8)ニアリ)

(III) 元弘ノ新政 後醍醐帝ノ世ニ於テ北條高時反シ其勢猖獗ニシテ帝亦隱岐

ニ流サレタリト雖モ護良親王及忠臣楠正成、新田義貞、名和長年等ノ功ニヨリテ之ヲ斃シ帝政ヲ回復セリ之ヲ元弘ノ新政ト云フ然レモ帝ノ爲ス所其宜ヲ得ズ寵姬文臣采邑ヲ得テ武功ノ士未タ尺寸ノ賞ヲ得ズ遂ニ武人ヲシテ不滿ノ極久カラズシテ戰亂ヲ醸サシムルニ至レリ

(七) 足利時代ニ於ケル大事變ヲ舉ゲヨ

足利氏將領ヲ待スル甚タ寛ナリシヲ以テ山名時氏、尊氏ニ叛キ領土ヲ廣メテ又降リ後其版圖十州ニ跨リ六分一侯ト稱セラル、ニ至レリ義滿ノ猜忌ニ觸レ遂ニ反シテ大内義弘等ノ爲ニ敗ラル之ヲ明德ノ役ト云フ

後大内義弘大國ノ守護トナリ鎌倉管領滿兼ト陰ニ合謀シ東西ヨリ義滿ヲ攻メシガ敗ラレテ死シ滿兼遂ニ義滿ト和ス之ヲ應永ノ役ト云フ

後細川勝元、山名宗全ノ二人各擁スル處アリ將軍繼嗣ノトヨリ其所属ノ兵ヲ竭シテ京下ニ戰ヒ兵燹相ツギ十一年ヲ經兩魁ノ死セルニ際シ戰亂初メテ止ムニ至レリ將軍之ヲ見テ如何トモスル能ハズ威望地ニ落チ又之ヲ恐ル、モノナキニ至レリ之ヲ應仁ノ亂ト云フ

(八) 神武天皇ノ時ノ政治如何 (以下四題第一高等中學)

當時ノ政治タル未タ進步セズ武國常ニ之ヲ見ルノ獨裁世襲君主政體ニシテ臣下モ亦世々其職ヲ襲ギ各自相異ナル職掌ヲ司リ久米部ハ天皇ヲ守リ中臣

ハ祭事ヲ司リ物部ハ軍事ヲ管セリ且又民ニ定租調貢ノ制ナキヲ見テモ亦其政體ノ簡易ナルヲ想フニ足ルベシ而シテ政治ハ主トシテ神ヲ祭リ帝ハ自ラ神ノ正系タリ國民ノ宗家タルヲ示スニ止リ世ノ所謂政祭一致タルノ治法タリキ地方官即國造縣主等モ亦世襲ニシテ國中到ル處門閥ヲ貴ビ姓氏ヲ重シ歸化ノ民等ハ賤職ニ從事セルニ過ギズ

(九)

本地垂跡ノ説トハ如何又此説ヲ唱ヘタル有名ノ人名ヲ舉ゲヨ
本地トハ本體眞身ヲ指シ垂跡トハ臨降出現スルヲ云フ聖武天皇ノ朝僧行基初メテ此説ヲ唱ヘテ神佛混合論ヲ爲シ日本ノ何神ハ彼佛ノ垂跡ナリ某佛ハ此神ノ本地ナリナド、稱シ神號ニ菩薩權現等ヲ附稱シ又神社ニ舍利ヲ加唱スルニ至レリ而シテ爾後之ヲ唱ヘタルハ最澄空海等ノ高僧ナリキ

(十)

貞永式目ヲ定メタルノ目的如何
北條氏ノ世泰時執權タルノ時ニ當テハ既ニ政子ヲ失ヒ尋デ義時ハ侍臣ノ手ニ斃レ茲ニ政略權謀家ヲ滅シタルノ補欠トシテ成文律ノ必用ヲ見ルニ至リ泰時即チ一ハ政法ノ基ヲ立テ一ハ臣下民心ヲ抑制センガ爲ニ此式目ヲ定メタルニ外ナラズトス

(十一)

平治ノ亂ノ原因如何
平清盛其勢日々熾ナリシヲ以テ源義朝心私ニ之ヲ嫉ム少納言藤原通憲朝政

ニ與カリ大ニ威望アリ義朝女ヲ以テ其子ニ配セントセシニ通憲之ヲ却ケ清盛ト婚セリ故ヲ以テ義朝通憲ト隙アリ尋テ藤原信賴大將ヲ求メテ得ズ是レ通憲ノ拒ム所ナリシヲ以テ二人相惡シ信賴乃チ義朝ト結ビ陰ニ通憲及清盛ヲ除クヲ謀レリ以上述フル所ハ即チ平治ノ亂ノ近因タルベキモノニシテ其遠因ハ正ニ源平二氏ノ軋轢ニ外ナラズトス

明治三十四年十月十二日印刷
明治三十四年十月廿六日發行



發行者 伊藤時

東京市日本橋區大傳馬町二丁目廿一番地

印刷者 大野喜六

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

印刷所 成功堂

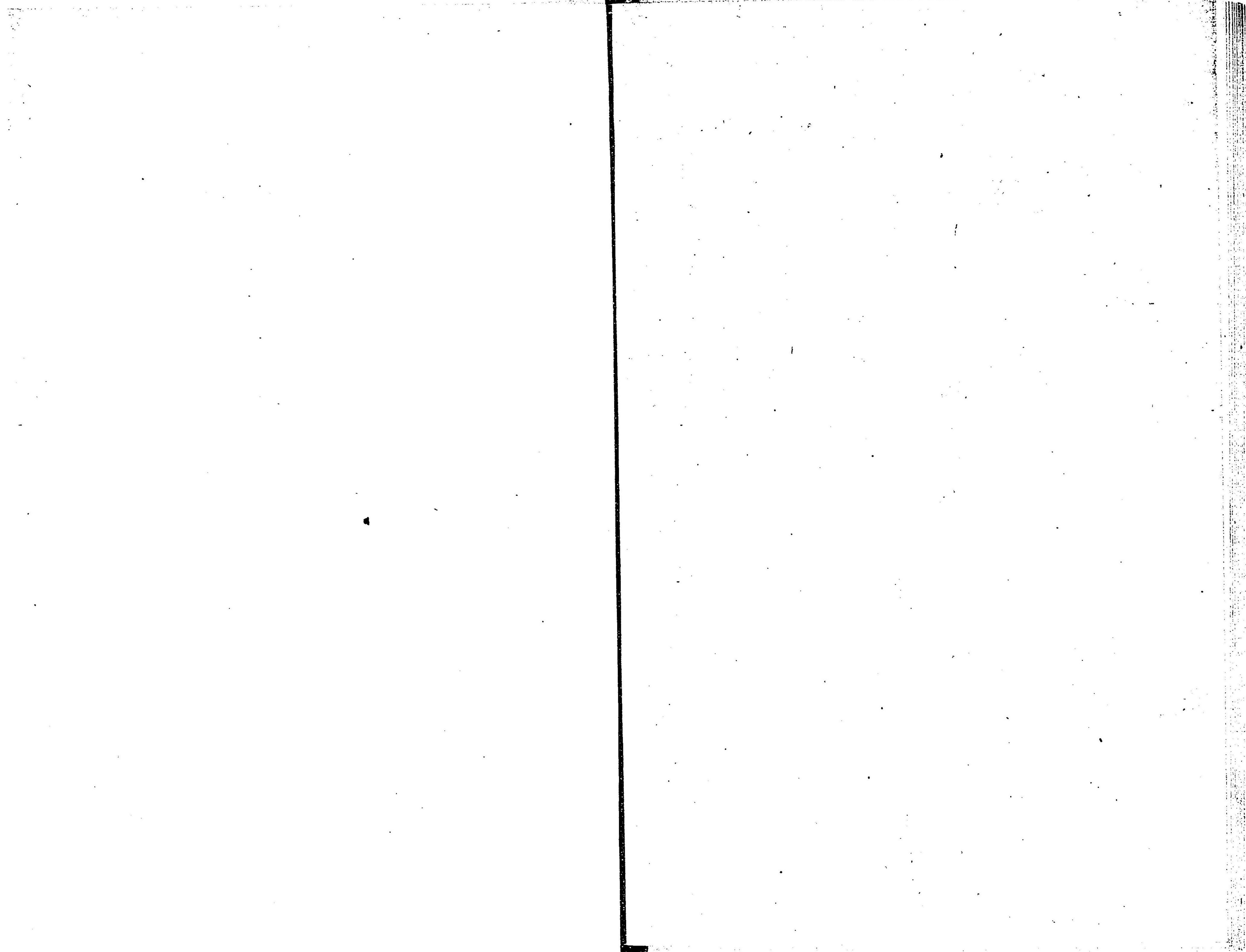
東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地



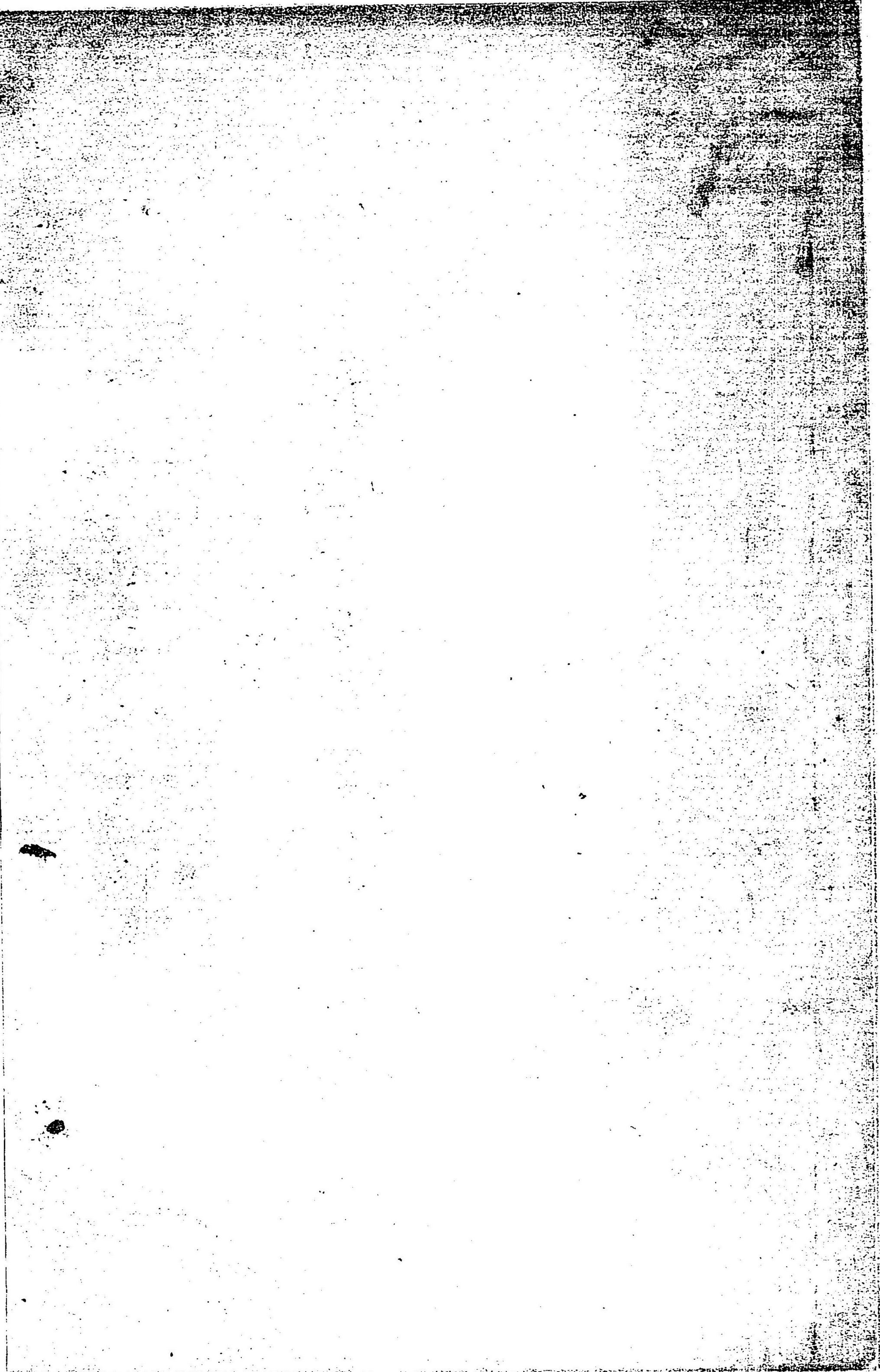
發行元

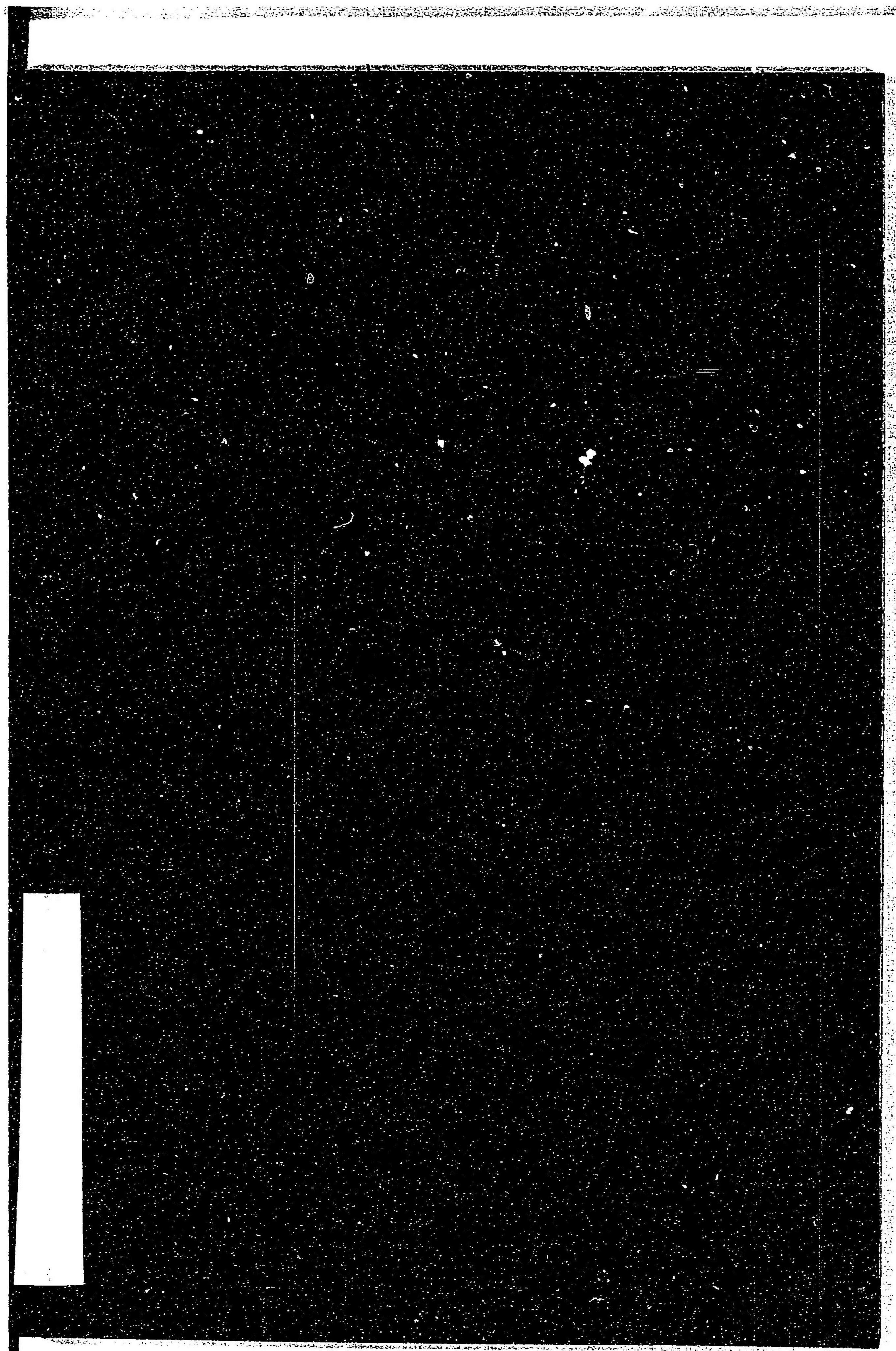
東京市日本橋區大傳馬町二丁目廿一番地

文友館



216
6
628





特45

142

地理歴史問答

国立国会図書館

049598-000-5

特45-142

地理歴史問答 官立諸学校入学試験問題解答

文友館

M34

BEM-0297

